



グラフと写真でみる
まちの**決算**と
財政状況

北海道栗山町

平成27年度決算 グラフと写真でみるまちの決算と財政状況 資料編

平成27年度

地方自治法第 233 条第 5 項の規定による 主要な施策の成果表

栗山町総合計画の策定と運用に関する条例第8条の規定による、
栗山町第6次総合計画 進行管理計画の公表資料

北海道栗山町

目 次

全体概要	1
（１）分野別事業一覧	2
（２）事業費・財源内訳比較	3
計画事業の会計別決算状況	4
（１）一般会計	5
（２）国民健康保険特別会計	15
（３）北海道介護福祉学校特別会計	16
（４）介護保険特別会計	16
（５）後期高齢者医療特別会計	16
（６）住宅団地造成事業特別会計	17
（７）工業団地造成事業特別会計	17
（８）水道事業会計	17
（９）下水道事業会計	17
計画事業別決算状況	18
I 生活環境	19
（１）ごみ処理	19
（２）環境・エネルギー	22
（３）防 災	25
（４）消防・救急	29
（５）生活安全	32
II 教 育	35
（１）学校教育	35
（２）生涯教育	50
（３）自然環境教育	56
（４）スポーツ	59
（５）芸術・文化	62
（６）国際・地域間交流	65
III 医療・保健・福祉	67
（１）保 健	67
（２）地域医療	73
（３）児童福祉	76
（４）高齢者福祉	82
（５）地域福祉	85
（６）障がい者福祉	87

IV	産 業	89
(1)	農 林 業	89
(2)	商 工 業	97
(3)	観光・交流産業	99
(4)	雇用環境	102
V	都市基盤	104
(1)	道路・交通	104
(2)	住宅・住環境	109
(3)	上・下水道	113
(4)	河 川	116
(5)	街なみ・景観	117
VI	地域経営	124
(1)	コミュニティ活動	124
(2)	行政経営	127
(3)	情報共有と町民参加	134

全体概要

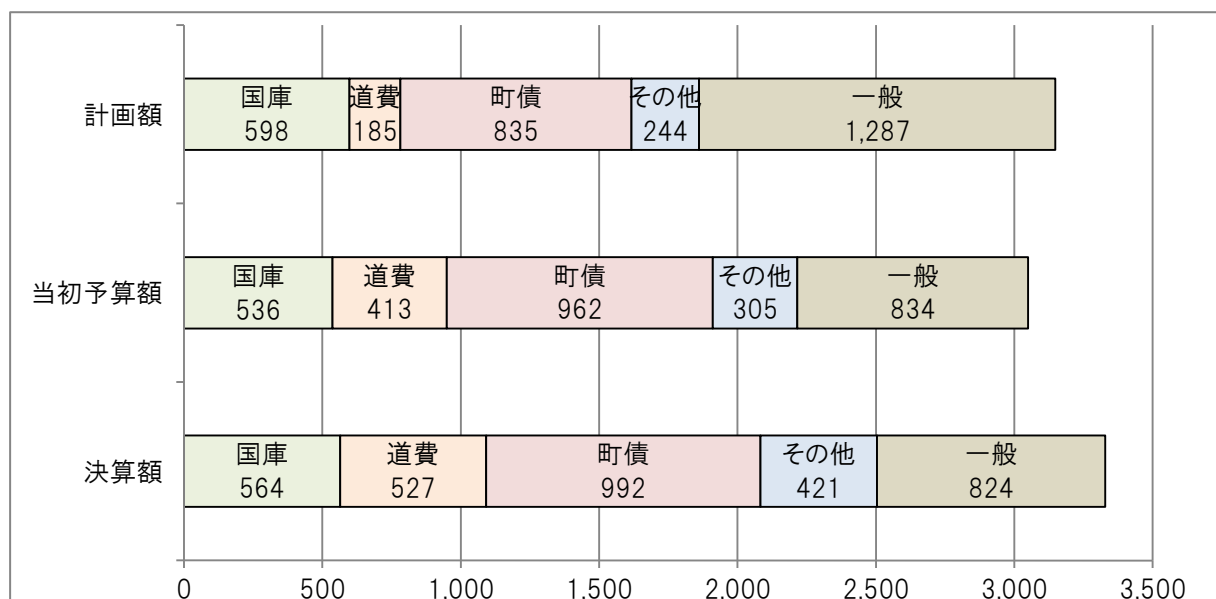
(1) 分野別事業一覧

(単位：千円)

政策分野		金額						
				国庫	道費	町債	その他	一般
Ⅰ	生活環境	計画額	346, 666	0	3, 000	97, 200	1, 100	245, 366
		当初予算額	281, 582	0	0	110, 300	33, 490	137, 792
		決算額	286, 800	0	2, 300	104, 500	38, 184	141, 816
Ⅱ	教育	計画額	466, 725	17, 873	12, 565	67, 600	88, 709	279, 978
		当初予算額	384, 991	22, 332	14, 882	39, 500	76, 726	231, 551
		決算額	426, 284	19, 644	10, 679	100, 900	63, 952	231, 109
Ⅲ	医療・保健・福祉	計画額	317, 279	10, 502	10, 615	0	11, 417	284, 745
		当初予算額	338, 421	22, 568	34, 774	112, 900	39, 007	129, 172
		決算額	326, 340	39, 258	25, 188	81, 100	64, 620	116, 174
Ⅳ	産業	計画額	639, 035	134, 796	155, 923	42, 500	107, 810	198, 006
		当初予算額	684, 051	0	362, 192	43, 800	125, 628	152, 431
		決算額	1, 015, 070	170, 106	483, 138	40, 600	154, 046	167, 180
Ⅴ	都市基盤	計画額	1, 272, 615	421, 391	2, 500	627, 400	35, 000	186, 324
		当初予算額	1, 287, 325	491, 535	83	655, 200	27, 116	113, 391
		決算額	1, 169, 788	315, 095	33	664, 603	93, 584	96, 473
Ⅵ	地域経営	計画額	105, 355	13, 000	0	0	0	92, 355
		当初予算額	73, 598	0	997	0	3, 177	69, 424
		決算額	103, 732	19, 726	6, 011	0	6, 934	71, 061
計		計画額	3, 147, 675	597, 562	184, 603	834, 700	244, 036	1, 286, 774
		当初予算額	3, 049, 968	536, 435	412, 928	961, 700	305, 144	833, 761
		決算額	3, 328, 014	563, 829	527, 349	991, 703	421, 320	823, 813

(2) 事業費・財源内訳比較

(単位：百万円)



前頁の表と上記のグラフは、栗山町第6次総合計画における計画事業の事業費を「計画策定時の額」、「平成27年度の当初予算額」、「平成27年度の決算額」で比較したものです。

計画策定時は3,147,675千円の事業費を見込んでいましたが、町の財政事情等を考慮した当初予算額は3,049,968千円で、計画額に対し97,707千円の減となりました。

決算額は3,328,014千円で、当初予算額に対し278,046千円の増となりましたが、地方創生先行型交付金をはじめとする国・道補助金等の積極的な確保や、地方交付税の算入対象となる町債の計画的な借り入れ、ふるさと応援寄附金の増などにより、町の財政負担を軽減しながら事業を実施しました。

計画事業の会計別決算状況

(1) 一般会計【会計番号①】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費	14, 274 千円	【No.173】 町有財産の適切な維持・整備を進めます。(2, 597 千円)	130
				【No.174】 公共施設等総合管理計画を策定し、老朽化対策を進めます。(3, 132 千円)	130
				【No.175】 時代に対応できる行政職員を育成します。(6, 901 千円)	131
				【No.176】 満足度の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築します。(92 千円)	131
				【No.182】 予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。(1, 552 千円)	135
		2. 文書広報費	9, 387 千円	【No.180】 広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。(9, 370 千円)	134
				【No.187】 町長のまちづくり懇談会を行います。(17 千円)	138
		5. 町有林管理費	8, 451 千円	【No.121】 造林事業などにより適正な森林管理を推進します。(8, 451 千円)	96
		9. 交通安全対策費	1, 700 千円	【No.21】 交通安全運動・教育を推進します。(1, 700 千円)	32
		10. 交通安全施設費	2, 840 千円	【No.22】 交通安全施設の整備を進めます。(2, 840 千円)	33
		12. 企画費	14, 457 千円	【No.138】 地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。(2, 088 千円)	107
				【No.164】 まちづくり協議会などの地域活動を支援します。(2, 111 千円)	124
				【No.165】 N P O 法人などの公益活動に対する支援を充実します。(30 千円)	125

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
2. 総務費	1. 総務管理費	12. 企画費	14,457 千円	【No.168】施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。(312 千円)	127
				【No.179】事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。(9,911 千円)	133
				【No.183】町民への情報提供に関する仕組みを充実します。(5 千円)	136
		15. 姉妹都市交流費	1,170 千円	【No.78】姉妹都市、被災地などとの青少年交流事業を行います。(1,170 千円)	66
		16. 国際交流費	4,642 千円	【No.51】優秀な介護福祉士、高齢化社会を支える人材を創出します。(1,012 千円)	48
				【No.77】少年ジェット派遣事業を行います。(3,630 千円)	65
		19. 情報推進費	66,118 千円	【No.177】情報システムにより、事務の効率化・サービス向上を図ります。(52,722 千円)	132
				【No.178】情報機器の活用により、事務の効率化・サービス向上を図ります。(13,396 千円)	132
		20. 防災対策費	12,428 千円	【No.11】災害用物資の備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。(3,504 千円)	26
				【No.12】災害時の電源・燃料確保を推進します。(7,953 千円)	26
				【No.13】災害時の情報伝達手段を充実します。(930 千円)	27
				【No.15】防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。(41 千円)	28
		22. 定住促進費	286 千円	【No.91】子育て等に関する、総合的な情報提供と相談機能を充実します。(286 千円)	76
		23. 地域経済活性化・地方創生対策費	41,755 千円	【No.65】ふるさと自然体験教育の推進と拠点施設の利活用を図ります。(648 千円)	58
				【No.83】乳幼児の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。(423 千円)	70

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
2. 総務費	1. 総務管理費	23. 地域経済活性化・地方創生対策費	41,755 千円	【No.90】初期救急医療の確保と、二次救急病院への支援をします。(2,084 千円)	75
				【No.93】子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。(4,136 千円)	77
				【No.105】高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。(2,100 千円)	85
				【No.110】新規就農者の受け入れを進めます。(3,500 千円)	90
				【No.119】6次産業化の取り組みを支援します。(3,422 千円)	95
				【No.126】栗の活用を推進し、新たな特産品や観光資源の創出を図ります。(2,554 千円)	100
				【No.127】東アジア市場への特産品の販路拡大を支援します。(2,500 千円)	100
				【No.129】栗山町への移住・定住を促進します。(12,876 千円)	101
				【No.140】高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。(4,725 千円)	108
				【No.143】若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。(2,465 千円)	111
				【No.179】事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。(322 千円)	133
		24. 地域経済活性化・消費喚起等対策費	37,014 千円	【No.93】子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。(4,821 千円)	77
				【No.122】賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。(32,193 千円)	97
	2. 徴税費	2. 賦課徴収費	1,011 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(1,011 千円)	129
	5. 統計調査費	1. 統計調査総務費	67 千円	【No.171】各種統計データにより、現状を分析し、まちづくりに活用します。(67 千円)	129
3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉総務費	33,253 千円	【No.23】地域の防犯・安全運動を推進します。(401 千円)	33
				【No.24】防犯灯（街路灯）の適切な配置を推進します。(17,815 千円)	34
				【No.105】高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します(55 千円)	85

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉総務費	33,253 千円	【No.106】地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。(14,982 千円)	86
		2. 老人福祉費	11,239 千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(8,257 千円)	83
				【No.106】地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。(2,982 千円)	86
		4. 心身障害者福祉費	2,313 千円	【No.107】障がい者の自立した地域生活を支援します。(2,007 千円)	87
				【No.108】障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体等を支援します。(306 千円)	88
	2. 児童福祉費	1. 児童福祉総務費	32,874 千円	【No.92】子ども医療費を助成します。(29,608 千円)	77
				【No.93】子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。(2,582 千円)	77
				【No.96】要保護児童対策の強化と、効果的な組織体制づくりを進めます。(40 千円)	79
				【No.98】心身障がい児の療育サービス費用負担の軽減を図ります。(644 千円)	80
		2. 保育所運営費	7,548 千円	【No.95】民間保育園などと連携を図り、保育・教育の質を高めます。(7,548 千円)	78
		3. 児童福祉施設費	94,457 千円	【No.94】児童の遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。(18,150 千円)	78
				【No.97】心身に障がいや発達の遅れのある子どもを支援します。(1,241 千円)	80
				【No.99】栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。(34,943 千円)	81
				【No.100】栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。(40,123 千円)	81
	4. 衛生費	1. 保健衛生費	313 千円	【No.86】町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。(188 千円)	72
				【No.87】健康で生きがいをもてる新しい都市モデルの調査研究を進めます。(125 千円)	72

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費	15,834 千円	【No.79】がん早期発見・治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。(4,696 千円)	67
				【No.80】脳血管疾患、循環器疾患、糖尿病などの予防を推進します。(4,296 千円)	68
				【No.81】より良い生活習慣への改善を推進します。(1,845 千円)	68
				【No.82】口腔の健康づくりを推進します。(1,242 千円)	69
				【No.83】乳幼児の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。(2,346 千円)	70
				【No.84】こころの健康づくりを推進します。(799 千円)	71
				【No.85】健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。(610 千円)	71
		3. 地域医療対策費	99,878 千円	【No.88】地域に必要な医療水準の維持に努めます。(32,720 千円)	73
				【No.89】在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。(700 千円)	74
				【No.90】初期救急医療の確保と、二次救急病院への支援をします。(66,458 千円)	75
		4. 環境衛生費	26,929 千円	【No.9】公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。(21,045 千円)	24
				【No.150】合併処理浄化槽の整備制度を改正します。(町管理への移行)(5,884 千円)	115
	2. 清掃費	1. 清掃総務費	439 千円	【No.6】町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。(439 千円)	22
		2. 塵芥処理費	145,699 千円	【No.1】中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。(91,005 千円)	19
				【No.2】ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。(485 千円)	20
				【No.3】ごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。(18,441 千円)	20
				【No.4】埋立てごみの減容を推進します。(29,628 千円)	21

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
4. 衛生費	2. 清掃費	2. 塵芥処理費	145,699 千円	【No.5】広域組合の共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。(6,140 千円)	21
5. 労働費	1. 労働費	1. 労働総務費	83 千円	【No.130】勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。(83 千円)	102
		2. 勤労者福祉センター費	4,873 千円	【No.130】勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。(4,873 千円)	102
6. 農林水産業費	1. 農業費	2. 農業総務費	7,181 千円	【No.118】有害鳥獣駆除対策を推進します。(7,181 千円)	94
		3. 農業振興費	412,544 千円	【No.111】営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。(7,712 千円)	90
				【No.112】栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。(45,049 千円)	91
				【No.113】農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。(635 千円)	92
				【No.116】農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。(199,776 千円)	93
				【No.117】中山間地域等の農業生産・多面的な機能確保を支援します。(153,604 千円)	94
				【No.120】農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。(5,768 千円)	96
		4. 総合土地改良事業費	284,894 千円	【No.114】国営事業などによる基盤整備と、施設の維持管理を行います。(260,034 千円)	92
				【No.115】道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。(24,860 千円)	93
		5. 農業担い手育成費	42,315 千円	【No.109】農業後継者の育成を図ります。(1,559 千円)	89
				【No.110】新規就農者の受け入れを進めます。(40,756 千円)	90
		6. エゾシカ食肉加工施設費	2,587 千円	【No.118】有害鳥獣駆除対策を推進します。(2,587 千円)	94

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
6. 農林水産業費	2. 林業費	1. 林業振興費	38,778 千円	【No.121】造林事業などにより適正な森林管理を推進します。(38,778 千円)	96
7. 商工費	1. 商工費	1. 商工振興費	153,554 千円	【No.8】環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。(1,512 千円)	23
				【No.25】消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。(1,198 千円)	34
				【No.122】賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。(26,441 千円)	97
				【No.123】積極的な企業誘致活動を行います。(4,803 千円)	98
				【No.124】町内商工業者の経営安定・改善などを支援します。(119,600 千円)	98
		2. 観光費	4,566 千円	【No.125】新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。(4,566 千円)	99
8. 土木費	2. 道路橋梁費	2. 道路維持費	28,018 千円	【No.135】町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。(26,960 千円)	106
				【No.136】町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。(1,058 千円)	106
		3. 除雪対策費	15,606 千円	【No.137】除雪用重機を計画的に更新します。(15,606 千円)	107
		5. 地方道路整備費	159,252 千円	【No.132】幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。(66,360 千円)	104
				【No.133】幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。(63,159 千円)	105
				【No.134】老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。(26,169 千円)	105
				【No.157】国道234号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。(3,564 千円)	120
		3. 河川費	18,252 千円	【No.151】河川環境の改善・水害防止と、自然河川づくりを推進します。(18,252 千円)	116
		4. 都市計画費	270 千円	【No.160】景観資源の保全・活用を図ります。(270 千円)	121

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
8. 土木費	4. 都市計画費	2. 都市計画整備費	6,272 千円	【No.152】新町地区の再開発整備要望に取り組みます。(6,272 千円)	117
		3. 公園管理費	7,444 千円	【No.161】老朽化した公園施設の修繕・更新を行います。(7,344 千円)	122
				【No.163】御大師山周辺ガイドブックの作成と施設の利活用を促進します。(100 千円)	123
	5. 住宅費	1. 住宅総務費	5,500 千円	【No.144】生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組みます。(2,641 千円)	112
				【No.145】住宅の居住性や住環境の向上を図ります。(2,859 千円)	112
		3. 住宅建設費	380,155 千円	【No.141】公営住宅の整備・改修を行います。(380,155 千円)	109
9. 消防費	1. 消防費	1. 消防費	81,723 千円	【No.17】消防通信指令装置を更新します。(55,728 千円)	30
				【No.19】老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。(8,532 千円)	31
				【No.20】消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。(17,463 千円)	31
10. 教育費	1. 教育総務費	3. 財産管理費	51,345 千円	【No.46】教職員住宅（校長・教頭）を改修します。(51,345 千円)	46
		4. 教育諸費	65,151 千円	【No.26】学校教育におけるＩＣＴの利活用を推進します。(7,003 千円)	35
				【No.27】小中学校の英語教育の質的向上、充実を図ります。(209 千円)	36
				【No.29】各学年において「全国標準学力検査」を実施します。(1,124 千円)	37
				【No.30】特別支援教育を推進します。(10,548 千円)	37
				【No.31】教職員による学校事務（校務）の負担軽減を図ります。(10,477 千円)	38
				【No.32】小学生のフッ化物洗口を推進します。(38 千円)	38
				【No.33】いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。(1,769 千円)	39

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
10. 教育費	1. 教育総務費	4. 教育諸費	65,151 千円	【No.35】児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。(1,988 千円)	40
				【No.36】児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。(53 千円)	40
				【No.37】コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。(687 千円)	41
				【No.38】児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。(21 千円)	41
				【No.39】ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。(708 千円)	42
				【No.40】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。(24,169 千円)	42
				【No.53】栗山高校生を対象とした資格取得支援を行います。(158 千円)	49
				【No.139】町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。(6,199 千円)	108
	2. 小学校費	1. 学校管理費	38,232 千円	【No.44】角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。(38,232 千円)	44
		2. 教育振興費	1,993 千円	【No.40】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。(1,993 千円)	42
	3. 中学校費	2. 教育振興費	4,105 千円	【No.40】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。(4,105 千円)	42
	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	1,717 千円	【No.56】青少年育成会活動を支援します。(864 千円)	51
				【No.61】地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。(353 千円)	55
				【No.78】姉妹都市、被災地などとの青少年交流事業を行います。(500 千円)	66
		2. 研修講座費	722 千円	【No.55】自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。(34 千円)	51
				【No.57】町民の多様な学びの機会づくりを行います。(410 千円)	52
				【No.58】高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。(278 千円)	52

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
10. 教育費	4. 社会教育費	3. 公民館費	1,482 千円	【No.60】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。(456 千円)	54
				【No.154】南部公民館の利便向上に向けた、敷地内の整備を行います。(1,026 千円)	118
		4. 図書館費	44,445 千円	【No.59】町民の読書活動を支援します。(43,446 千円)	53
				【No.60】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。(999 千円)	54
		5. 文化振興費	8,169 千円	【No.72】町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。(4,382 千円)	62
				【No.73】町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。(310 千円)	63
				【No.74】芸術創造のまちづくりを推進します。(423 千円)	63
				【No.75】ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。(84 千円)	64
				【No.76】歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。(2,970 千円)	64
		6. 農村環境改善センター費	26,977 千円	【No.60】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。(1,263 千円)	54
				【No.156】農村環境改善センターの利便性向上に向けた周辺整備を行います。(25,714 千円)	119
		7. 開拓記念館費	6,646 千円	【No.75】ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。(6,646 千円)	64
		9. 自然教育振興費	44,758 千円	【No.62】国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。(10,546 千円)	56
				【No.63】ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。(2,562 千円)	57
				【No.64】人と自然との共生を推進します。(15,669 千円)	57
				【No.65】ふるさと自然体験教育の推進と拠点施設の利活用を図ります。(15,072 千円)	58
				【No.128】都市圏からの交流人口を拡大します。(909 千円)	101

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
10. 教育費	4. 社会教育費	10. カルチャープラザ費	3,657 千円	【No.60】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。(3,657 千円)	54
	5. 保健体育費	1. 保健体育総務費	3,602 千円	【No.67】年齢や興味関心・技術技能に応じた生涯スポーツを推進します。(3,572 千円)	59
				【No.68】スポーツ合宿などの受入体制を整備します。(30 千円)	60
		2. 体育施設費	16,382 千円	【No.69】老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。(16,382 千円)	60
		3. スポーツセンター費	1,947 千円	【No.69】老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。(1,947 千円)	60
		4. スキー場費	1,237 千円	【No.71】栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。(1,237 千円)	61
		5. 学校給食費	2,508 千円	【No.47】栄養教諭による食育事業を実施します。(36 千円)	46
				【No.49】安全な給食提供のため、備品・食器などの更新を行います。(2,472 千円)	47

(2) 国民健康保険特別会計【会計番号②】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 総務費	3. 徴税費	1. 賦課徴収費	130 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(130 千円)	129
8. 保健事業費	1. 特定健康診査等事業費	1. 特定健康診査等事業費	8,578 千円	【No.80】脳血管疾患、循環器疾患、糖尿病などの予防を推進します。(8,578 千円)	67
	2. 保健事業費	1. 趣旨普及費	5,662 千円	【No.79】がん早期発見・治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。(5,662 千円)	68

(3) 北海道介護福祉学校特別会計【会計番号⑥】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 教育費	1. 介護福祉学校費	1. 介護福祉学校費	128,542 千円	【No.51】優秀な介護福祉士、高齢化社会を支える人材を創出します。(126,770 千円)	48
				【No.52】介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。(1,772 千円)	49
2. 公債費	1. 公債費	1. 利子	55 千円	【No.51】優秀な介護福祉士、高齢化社会を支える人材を創出します。(55 千円)	48

(4) 介護保険特別会計【会計番号⑦】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 総務費	2. 徴収費	1. 賦課徴収費	37 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(37 千円)	129
4. 地域支援事業費	1. 介護予防事業費	1. 二次予防事業費	4,629 千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(4,629 千円)	82
		2. 一次予防事業費	7,295 千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(7,295 千円)	82
	2. 包括的支援事業・任意事業費	6. 任意事業費	6,833 千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(86 千円)	82
				【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(6,747 千円)	83

(5) 後期高齢者医療特別会計【会計番号⑧】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 総務費	2. 徴収費	1. 賦課徴収費	17 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(17 千円)	129

(6) 住宅団地造成事業特別会計【会計番号⑨】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 住宅団地造成事業費	1. 住宅団地造成事業費	1. 住宅団地造成事業費	78,708 千円	【No.142】住宅団地の造成を行います。(78,708 千円)	110

(7) 工業団地造成事業特別会計【会計番号⑩】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 工業団地造成事業費	1. 工業団地造成事業費	1. 工業団地造成事業費	13,677 千円	【No.157】国道234号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。(13,677 千円)	120

(8) 水道事業会計【会計番号⑪】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 資本的支出	1. 建設改良費	1. 老朽管更新事業費	91,779 千円	【No.146】老朽化した水道管を計画的に更新します。(91,779 千円)	113
		3. 浄水施設整備費	55,966 千円	【No.147】水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。(55,966 千円)	114

(9) 下水道事業会計【会計番号⑫】

款	項	目	決算額	関連計画事業	
				事業名（決算額）	頁
1. 下水道事業資本的支出	1. 建設改良費	2. 施設統合事業費	260,788 千円	【No.149】継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。(260,788 千円)	115

計画事業別決算状況

I 生活環境

安心して暮らせるふるさとづくり

(1) ごみ処理

計画策定時の主な課題

- ◆平成 23 年度より可燃ごみの炭化処理を実施してきましたが、炭化施設の廃止に伴い、最終処分場の新たな延命対策と、さらなる埋め立てごみの減量対策が必要となっています。
- ◆高齢化の進展などを見すえ、広域組合への加入による共同（焼却）処理への転換など、将来の安定したごみ処理体制の構築が急務となっています。

施策① ごみの減量化・資源化の推進

- ごみの再資源化による循環型社会の形成
- 適正な分別の推進とごみの発生抑制

No.	計画事業	事業概要	担当課
1	中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。	資源ごみのリサイクル推進、生ごみ・下水道汚泥の堆肥化（栗肥土＝クリピットとして町民に還元）、外部処理委託の推進	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額		93,269千円				主な事業実績	生ごみ・下水道汚泥の堆肥化により製造される「栗肥土」を町民へ販売することで町民へ還元したほか、平成27年度から硬プラスチックや木類など、再生処理可能物の外部処理委託を行い、廃棄物の再資源化を進め、これらの取り組みや、ごみ分別の徹底によりリサイクル率が約10%向上しました。
決算額		91,005千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	3,644千円					
	一般	87,361千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	4	2	2	91,005千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
2	充実 ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。	地域・団体・事業所などを対象とした説明会・施設見学会の実施、分別啓発用パンフレットの作成、小中学生の分別学習の推進 など	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	485千円	主な事業実績	ごみ分別やリサイクルの重要性について再認識して頂くため、希望のあった町内団体に対して、ごみ処理施設案内や説明会を7回、町内小学生や北海道介護福祉学校の生徒を対象に、ごみ処理施設での分別学習を2回開催しました。
決算額	485千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	485千円
	① 4 2 2		

施策② ごみ処理体制の整備

- 埋立てごみの減容による最終処分場の延命化
- 広域処理による安定したごみ処理体制の確立

No.	計画事業	事業概要	担当課
3	老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。	堆肥化施設上屋ビニール修繕・脱臭施設等の修繕、資源リサイクルセンター圧縮梱包器等の更新・修繕、作業用重機・ごみ収集車の更新 など	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	18,441千円	主な事業実績	老朽化が進んでいるごみ処理施設や設備について点検し、修繕が必要な個所を見極め、施設や設備の延命に向けた的確な修繕等を行いました。
決算額	18,441千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	18,441千円
	① 4 2 2		

【主な修繕内容】

- リサイクルセンター圧縮梱包機修繕
- 堆肥化施設ベルトコンベア等修繕
- 堆肥化施設脱臭装置機器修繕

No.	計画事業	事業概要	担当課
4	充実 埋立てごみの減容を推進します。	埋立てごみの破砕処理の実施（最終処分場の延命化）、外部焼却処理委託の推進	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	29,796千円	主な事業実績	4月から9月までの6か月間、埋立てごみの破砕処理を実施し、1,181 m³分の埋立てごみの減容を実現しました。 また、本町から発生する廃棄物のうち、焼却対象物約 800 t を外部処理したことで埋立てごみが減容され、最終処分場の利用が延命化されました。			
決算額	29,628千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	4	2	2	29,628 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
5	新規 広域組合加入による共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。	広域組合（道央廃棄物処理組合）への加入、焼却処理(平成 36 年 4 月施設稼働予定)に向けての基本計画、建設用地選定・購入、施設等建設 など	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	6,141千円	主な事業実績	道央廃棄物処理組合への加入が決定し、焼却処理（平成 36 年 4 月施設稼働予定）による、今後の廃棄物の安定した処理体制が構築されました。			
決算額	6,140千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	4	2	2	6,140 千円	

(2) 環境・エネルギー

計画策定時の主な課題

- ◆地球温暖化対策に関する実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定による温室効果ガスの発生抑制と、再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進が必要となっています。

施策① 地域環境美化の推進

- 全町的な環境美化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
6	町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。	年2回（春・秋）の全町一斉清掃の実施、町内会・自治会などの地域清掃活動（児童公園など）に対するボランティア袋の提供	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額		4 4 0千円				主な事業実績	春と秋の年2回、町内会・自治会などの協力のもと、全町一斉清掃を実施し、地域の環境美化活動を行いました。 また、町内会・自治会などの地域清掃活動（児童公園や河川など）に対してボランティア用ごみ袋の提供を行い、地域環境美化活動の支援を行いました。
決算額		4 3 9千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	439千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	4	2	1	439千円	

施策② 地球温暖化対策の推進

- 地球温暖化防止のための温室効果ガスの発生抑制

No.	計画事業	事業概要	担当課
7	充実 温室効果ガス排出削減などに向けた、地球温暖化対策実行計画を策定します。	栗山町役場の対策を定める実行計画（事務事業編）と、町内全域の取り組みを定める実行計画（区域施策編）を策定	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	平成 28 年度からの策定に向けて各施設の電気料、燃料使用量並びに一般廃棄物の処理量の実績把握を行うとともに、エネルギー使用量の削減手法について検討しました。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	千円		

施策③ 再生可能エネルギー活用の推進

- 再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
8	新規 環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。	太陽光・バイオマス・雪氷冷熱などの再生可能エネルギーを導入する町内事業者を支援（導入費用の一部を助成）	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額	2,000千円	主な事業実績	自家消費向け再生可能エネルギーシステム等の設備導入費や、システム等を導入し、新たな事業展開によって経営の拡大を図ろうとする事業者に対して、事業経費の一部を補助しました。
決算額	1,512千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考) 会計別決算額	金額		
	① 7 1 1 1,512千円		

【補助概要】

- 対象者：町内中小企業者、農業者等
- 補助率：対象経費の 1/3（限度額 100 万円）
- 実績：2 件 1,512 千円（756 千円×2 件）

No.	計画事業	事業概要	担当課
9	充実 公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。	住宅（家庭）用太陽光発電設備の導入を助成、災害対策も兼ねた主要公共施設（役場庁舎など）への太陽光発電設備の導入 【後期展望】 木質バイオマス、風力発電などの再生可能エネルギー活用に向けた調査検討	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額		21,092千円				主な事業実績	電力使用量を削減し、CO2削減に寄与するため、南部公民館講堂の照明のLED化及び10kwの太陽光発電設備を設置しました。 また、再生可能エネルギー導入を推進するため、住宅用太陽光発電システム設置費を補助しました。 ○補助概要：19件（3,895千円）
決算額		21,045千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	13,200千円					
	その他	1,600千円					
	一般	6,245千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	4	1	4	21,045千円	

(3) 防 災

計画策定時の主な課題

- ◆各地域（町内会・自治会等）における自主防災組織設置と活動支援が必要となっています。
- ◆栗山市街（北部）地区の備蓄場所（備蓄庫）の確保が必要となっています。
＊南部：南部公民館、中部：旧農業集落排水処理場、北部：役場別館（建物の老朽化）
- ◆災害情報の伝達手段（各世帯）の確保が必要となっています。

施策① 地域防災活動の推進

- 地域組織を活かした災害時における協力体制の確立

No.	計画事業	事業概要	担当課
10	新規 自主防災組織の設置により、地域防災活動を推進します。	まちづくり協議会などによる自主防災組織の設置支援（助成）・育成、防災士（地域リーダー）の養成 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実 績

最終予算額		50千円				主な事業実績	市街地域については、まちづくり協議会を中心に、8地区の自主防災組織が設置されました。 未設置地域に対しては、推進方法の見直しを行いながら自主防災組織の必要性の理解を進め、地域の実情に沿った自主防災組織の設置を推進しました。
決算額		0千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	0千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	2	1	20	0千円		

施策② 行政危機管理体制の整備

- 災害用物資（食料・資機材・燃料等）の計画的な備蓄
- 災害時における町民への情報伝達手段の確保
- 降雨・降雪など気象状況の的確な把握

No.	計画事業	事業概要	担当課
11	充実 災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。	備蓄計画に基づく食料・資機材（毛布・ストーブ・投光器など）の確保、役場敷地内に備蓄倉庫整備、家庭備蓄の啓発 など	総務課 広報・防災・情報G

実績

最終予算額	3,510千円	主な事業実績	災害時における避難所生活に備えるため、栗山町備蓄計画に基づき食糧、資機材を購入しました。 【主な整備内容】 ①食糧 アルファ化米（おかゆ）300食・クラッカー 3,700袋・飲料水 3,036本・粉ミルク 10,400g ②資機材 毛布 250枚・避難所用マット 5巻・投光器 2基
決算額	3,504千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	① 2 1 20	金額 3,504千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
12	新規 災害時の電源・燃料確保を推進します。	各地区の主要避難所に非常用電源設備を整備、電源及び暖房機器などの燃料確保に向けた供給業者との災害時協定の締結 など	総務課 広報・防災・情報G

実績

最終予算額	7,987千円	主な事業実績	避難所の非常用発電施設の整備等を計画的に進めており、可動式発電機 2基と南部公民館に非常用発電施設を設置しました。 また、暖房機器等燃料については、燃料供給業者と災害時の燃料確保の協定の締結に向けて検討しました。
決算額	7,953千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	① 2 1 20	金額 7,953千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
13	新規 災害時の情報伝達手段を充実します。	小中学校・各公共施設に対する災害・避難情報の伝達手段（緊急速報配信システム）の構築	総務課 広報・防災・情報 G

実績

最終予算額	945千円	主な事業実績	災害時における災害情報の住民周知及び職員、関係機関との連絡体制を確保するため、スピーカー付災害用車両を1台、衛星電話1台、安否確認・一斉通報システム等を過年度より整備し運用しました。			
決算額	930千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考)	会計別決算額	計	款	項	目	金額
		①	2	1	20	930千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
14	新規 防災情報システム（気象観測等）を導入します。	早期の避難情報提供のため、町内各地点に気象計測器・ライブカメラを設置（降雨や降雪状況の把握）	総務課 広報・防災・情報 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	現在、町内には気象観測装置（気温、降水量、降雪量、日射量、風速、風向）がなく、災害時における町内の気象情報が入手しづらい環境にあります。 引き続き、平成29年度の設置に向けて、町内（南部・中部・北部）への気象観測装置導入検討を進めていきます。			
決算額	千円					
(財源内訳)	平成27年度の予算配当・執行はありません。					
(参考)	会計別決算額	計	款	項	目	金額
						千円

施策③ 防災意識の啓発

- 町民の防災意識の高揚

No.	計画事業	事業概要	担当課
15	防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。	町民・関係機関と連携した総合防災訓練の実施(年1回)、町職員防災訓練の実施(年1回)、町広報などでの防災知識の啓発	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額		50千円		主な事業実績	地域住民の防災への知識の普及、防災意識の高揚と関係機関との連携強化を図るため、近年の集中豪雨による洪水を想定した総合防災訓練を実施しました。 【主な実施内容】 ○対象地域：栗山町錦地域 ○参加者数：182人	
決算額		41千円				
(財源内訳)	国庫	0千円				
	道費	0千円				
	町債	0千円				
	その他	0千円				
	一般	41千円				
(参考)		計	款			項
会計別決算額		①	2	1	20	41千円

(4) 消防・救急

計画策定時の主な課題

- ◆平成 11 年に導入した消防通信指令装置の経年劣化が進み、更新が必要となっています。
*通報受理・出動命令・消防団招集等の迅速化、増加する携帯電話からの通報時の位置特定を強化
- ◆サイレン吹鳴装置の更新（デジタル化）が必要となっています。
*現在のアナログ無線設備の使用期限が平成 28 年 5 月 31 日までとなっている。
- ◆引き続き、消防施設・車両等の計画的な改修・更新が必要となっています。

施策① 消防・救急体制の確保

- 消防車両の計画的な更新による消防・救急体制の確保
- A E D（自動体外式除細動器）の普及・利活用による救命率の向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
16	展望 消防車両などを計画的に更新します。	【後期展望】 消防署化学消防ポンプ自動車、救助工作車、指令車、小型ポンプ付水槽車、高規格救急車などの更新を検討	消防署

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	平成 28 年度以降の更新に向け、車両の更新時期と仕様を十分に検討し、計画的に更新していきます。	
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。							千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目			金額

No.	計画事業	事業概要	担当課
17	新規 消防通信指令装置を更新します。	消防署の通信指令装置の更新（通報受理・出動命令・情報提供の迅速化等）	消防署

実績

最終予算額		55, 728千円					主な事業実績	統合型発信地表示システムを導入し、固定、携帯電話の発信エリアを特定できるようになり利便性が向上しました。 また、聴覚障がい等の音声による通報が困難な人への配慮としてFAXやメールでの受信対応も強化しました。
決算額		55, 728千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	55,700千円						
	その他	0千円						
	一般	28千円						
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目	金額		
		①	9	1	1	55,728千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
18	AEDの活用など救急救命講習を実施します。	救急救命講習の実施、AEDの設置拡大に向けた啓発活動 など	消防署

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	救急救命講習については、23 回開催し 507 人が受講しました。 A E Dの管理、普及啓発については、日本救急医療財団の全国 A E Dマップに町内の A E D 設置場所を掲載した他、24 時間使用可能なコンビニエンスストアに設置協力を依頼しました。	
決算		千円				
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		千円			
			千円			
			千円			
			千円			
			千円			
(参考)		会計	款			項
会計別決算額						千円

施策② 消防施設の整備

- 消防施設の計画的な更新による消防・救急体制の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
19	充実 老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。	消防待機宿舎改修、サイレン塔改修、消防署庁舎屋上防水改修 など	消防署

実績

最終予算額	8,532千円	主な事業実績	緊急時の対応確保、施設の安全確保を図るため、消防待機宿舎外壁及び消防庁舎サイレン塔の改修、整備を行いました。			
決算額	8,532千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考)	会計別決算額	①	9	1	1	金額 8,532 千円

施策③ 消防団の充実・強化

- 消防団活動の充実・強化による火災・災害時等の被害軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
20	消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。	分団小型動力ポンプ自動車の更新、各分団除雪機の更新、サイレン遠隔吹鳴システム整備、各分団庁舎の改修・補修 など	消防署

実績

最終予算額	17,463千円	主な事業実績	災害対応の迅速化を図るため、分団庁舎の改修や除雪機の更新、デジタル化のサイレン吹鳴を導入しました。 また、応急手当の普及や防火活動に貢献するため、女性消防団員を新たに10人採用しました。			
決算額	17,463千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考)	会計別決算額	①	9	1	1	金額 17,463 千円

(5) 生活安全

計画策定時の主な課題

- ◆関係団体との連携による、継続的な交通安全運動・教育の推進が必要となっています。
- ◆広域化・悪質化する犯罪（振り込め・還付金詐欺など）に対し、家庭・地域・学校・関係団体との連携を強め、地域ぐるみの防犯活動が必要となっています。
- ◆消費者協会と連携を図りながら、継続的な消費者保護・相談事業の推進が必要となっています。 ＊消費者協会会員の高齢化の現状もあり会員増に向けた取り組みも必要。

施策① 交通安全対策の推進

- 町民一人ひとりの交通安全意識の高揚
- 危険箇所への警戒標識設置等による交通事故抑止

No.	計画事業	事業概要	担当課
21	交通安全運動・教育を推進します。	各種団体の協力による交通安全運動・キャンペーンの実施、幼児・児童生徒などの交通安全教育の推進 など	住民生活課 生活安全G

実績

最終予算額		1,700千円			
決算額		1,700千円			
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	0千円			
	一般	1,700千円			
(参考)		計	款	項	目
会計別決算額		①	2	1	9
		金額			
		1,700千円			

主な事業実績

交通安全に対する町民一人ひとりの意識を高め、交通事故の抑止を図るため、栗山町交通安全協会をはじめとする各関係機関・団体とともに、交通安全運動・教育活動を推進しました。

【主な内容】

- 新入学児童交通安全街頭啓発等グッズ配布
- 交通安全教室・講習会：19回・1,329人
- 各期交通安全運動街頭啓発：11回・737人

No.	計画事業	事業概要	担当課
22	交通安全施設の整備を進めます。	町道への道路警戒標識などの設置	住民生活課 生活安全 G

実績

最終予算額		2, 8 4 1千円				主な事業実績	交通事故の抑止を図るため、町道への道路警戒標識等を整備しました。
決算額		2, 8 4 0千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	2, 840千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	【整備内容】 ○路側標識板：15基 ○警戒標識：6基 ○道路反射鏡：1基 ○区画線：一式
会計別決算額		①	2	1	10	2, 840千円	

施策② 地域防犯活動の推進

- 犯罪の無い安全な地域社会の形成

No.	計画事業	事業概要	担当課
23	地域の防犯・安全運動を推進します。	栗山地区防犯協会による地域安全運動、地域安全講習会、子ども110番の家事業の支援 など	住民生活課 生活安全 G

実績

最終予算額		401千円				主な事業実績	犯罪のない明るい安心・安全な地域社会を構築するため、栗山地区防犯協会をはじめとする関係機関や地域と共に、地域の防犯・安全運動を推進しました。
決算額		401千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	401千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	3	1	1	401千円		【主な内容】 ○新入学児童防犯ブザー配布 ○防犯パトロール：3回・54人 ○スポーツ少年団助成：3団体 ○防犯講習会：8回・352人

No.	計画事業	事業概要	担当課
24	防犯灯（街路灯）の適切な配置を推進します。	町内会等による防犯灯（街路灯）設置・修理費用の助成、電気料の助成、ＬＥＤ化の推進	住民生活課 生活安全Ｇ

実績

最終予算額		17,816千円				主な事業実績	夜間における犯罪の防止、歩行者の安全確保など、犯罪、事故のない安心・安全な地域社会の構築を図るため、街路灯設置・修理及び電気料を地域団体へ助成しました。 【実施内容】 ○街路灯設置・修理助成 ・38団体・503灯 （内、ＬＥＤ化分 37団体・500灯） ○電気料助成 ・81団体・1,762灯
決算額		17,815千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	13,000千円					
	その他	0千円					
	一般	4,815千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	3	1	1	17,815千円	

施策③ 消費者保護の推進

- 知識啓発及び相談体制の充実等による消費生活の保護

No.	計画事業	事業概要	担当課
25	消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。	「消費者まつり」や啓発事業などを行う栗山消費者協会の活動を支援（助成）、消費生活相談員による相談窓口の開設 など	ブランド推進課 ブランド推進Ｇ

実績

最終予算額		1, 1 9 8千円				主な事業実績	栗山消費者協会へ消費生活についての意識啓発や消費者まつり等への活動に対して助成したほか、消費生活相談員による南空知消費生活相談窓口の運営について委託し、22 件の相談を受けました。 また、計量法の規定により、計量器 141 個の適合検査を実施しました。
決算額		1, 1 9 8千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	1, 100 千円					
	一般	98 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	7	1	1	1, 198 千円	

Ⅱ 教 育

人々が輝くふるさとづくり

(1) 学校教育

計画策定時の主な課題

- ◆地域総ぐるみによる学校教育の創造と、地域の特性を生かした「ふるさと教育」のさらなる推進が必要となっています。
- ◆ＩＣＴ利活用や英語教育など、社会変化に対応した特色ある教育活動の推進が必要となっています。
- ◆教育機会の均等を保障する就学援助制度の継続が必要となっています。
- ◆各小中学校施設の計画的な改修（栗山中体育館の大規模改修等）が必要となっています。
- ◆アレルギー対応等を含めた、衛生管理基準に適合する学校給食センターの建替えの検討が必要となっています。
- ◆少子化や介護職離れ等により介護福祉学校への入学希望生徒が年々減少しており、事業所と連携した修学資金制度運用など、学生確保に向けた対策が必要となっています。

施策① 確かな学力の育成と特別支援教育の充実

- ＩＣＴ利活用や英語教育の充実などによる特色ある学校教育の推進
- 指導体制の充実による児童生徒の基礎学力の定着・向上
- 学習や学校生活に困難さを抱える児童生徒への支援
- 教職員の指導力発揮に向けた環境整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
26	充実 学校教育におけるＩＣＴの利活用を推進します。	各教室に常設型ＩＣＴ環境（電子黒板・実物投影機・タブレット端末等）を整備、デジタル教材の導入、利活用の支援 など	教育委員会 学校教育G

実 績

最終予算額		7, 0 0 3千円				主な事業実績	
決算額		7, 0 0 3千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	7, 003 千円					
(参考)	会計別決算額	①	10	1	4	金額	7, 003 千円

良い教材を手軽に提示して「楽しくわかる授業」の日常化をすすめ、子どもたちの知識基盤型社会を生き抜く力を育成するため、学校用ファイルサーバやデジタルカメラ等のコンピューター機器を導入し、各学校のＩＣＴ環境を整備しました。

【整備内容】

- 栗山小学校：インクジェットプリンタ
- 角田小学校：デジタルカメラ
- 継立小学校：インクジェットプリンタ
- 栗山中学校：アップルＴＶ

No.	計画事業	事業概要	担当課
27	充実 小中学校の英語教育の質的向上、充実を図ります。	小学生専属の英語指導助手配置による英語教育の充実	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		214千円				主な事業実績	文部科学省の英語教育改革実施計画に対応する英語指導環境の充実を図るため、外国人英語指導助手の2人体制を維持しました。
決算額		209千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	209千円					
(参考)		会計	款	項目	金額		
会計別決算額		①	10	1 4	209千円		

主な事業実績

文部科学省の英語教育改革実施計画に対応する英語指導環境の充実を図るため、外国人英語指導助手の2人体制を維持しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
28	新規 児童生徒の学力向上に向けた指導機能の充実を図ります。	教育委員会事務局に学校教育活動の指導・助言を行う専門職員（1人）を配置、授業力向上に向けた教職員研修機会の充実	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	児童生徒の学力向上や教員の授業力向上等を図るため、学校教育の専門知識を持つ指導主事1人を配置し、各学校の学校経営・教育課程編成等に指導助言を行いました。	
決算	平成27年度の予算配当・執行はありません。	千円				
		千円				
		千円				
		千円				
		千円				
(参考)	会計別決算額	計	款			項
						千円

平成27年度の予算配当・執行はありません。

主な事業実績

児童生徒の学力向上や教員の授業力向上等を図るため、学校教育の専門知識を持つ指導主事1人を配置し、各学校の学校経営・教育課程編成等に指導助言を行いました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
29	各学年において「全国標準学力検査」を実施します。	小学2～6年生・中学校全学年で全校標準学力検査を実施	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		1, 1 6 7千円				主な事業実績	学力定着の状況を把握し、授業改善や家庭における生活習慣の改善に繋がる教育指導の充実を図るため、小学校2年生から中学校3年生までを対象とした、全国標準学力検査を実施しました。
決算額		1, 1 2 4千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	1,124千円					
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	10	1	4	1,124千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
30	特別支援教育を推進します。	特別支援教育支援員（学習支援員）の配置（各学校の実情に合わせて配置）	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		10,686千円				主な事業実績	学習や生活に困難さを抱える児童生徒を支援するため、特別支援教育支援員を9人配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行いました。 また、特別支援教育推進協議会において、支援員や学校関係者を対象とした研修会を開催し、障がいや支援方法への理解を深めました。	
決算額		10,548千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	0千円						
	一般	10,548千円						
(参考)		会計	款	項	目			
会計別決算額		①	10	1	4	10,548千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
31	教職員による学校事務（校務）の負担軽減を図ります。	臨時職員配置による学校事務などの補助、校務支援システム（出欠・成績管理、指導要録など）の利活用による校務の情報化	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	11,197千円	主な事業実績	教職員が行う事務処理の効率化と負担を軽減し、ゆとりを持って子どもたちと向き合える指導環境を整えるため、北海道公立学校校務支援システムの利活用を進め、学校事務補助職員を3人配置しました。
決算額	10,477千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	① 10 1 4	10,477千円	

施策② 豊かな心と健やかな身体の育成

- いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期発見・解決
- 児童生徒による読書活動の充実
- 児童生徒の豊かな心と健やかな身体の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
32	小学生のフッ化物洗口を推進します。	各小学校週1回、希望する家庭の児童に低濃度フッ素でのうがいを実施	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	50千円	主な事業実績	しっかりと歯磨き習慣と並行して歯を強し、齲歯にならないよう、学校歯科医師の指導の下、各学校約35回フッ化物洗口を実施しました。
決算額	38千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	① 10 1 4	38千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
33	いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。	教育相談員の配置（1人）、児童福祉と連携した虐待防止、中学校でのスクールカウンセラー活用（月1回北海道から派遣）	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		1, 7 6 9千円				主な事業実績	教育相談員1人を配置し、いじめや不登校児童生徒の実態把握、不登校における保護者及び児童生徒の心情に寄り添う教育相談を行い、早期の学校復帰に向けて学校と連携し支援しました。 また、家庭支援が必要な児童生徒について、保健福祉課と情報を共有しました。
決算額		1, 7 6 9千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	1,769千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	4	1,769千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
34	充実 学校の読書環境（図書室）の充実を図ります。	栗山町図書館（指定管理者：NPO法人くりやま）との連携強化による学校図書の充実・活用の推進	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	豊かな感性を育む読書活動を推進するため、町図書館のミニくりプロジェクト事業の実施、蔵書の管理を行いました。 また、ボランティアの協力により、朝の読書活動に取り組みました。	
決算	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。	千円				
		千円				
		千円				
		千円				
		千円				
(参考)	会計別決算額	計	款			項
						千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
35	充実「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。	児童生徒のスポーツ・文化活動の支援（全道大会以上への参加時に対象経費の一部を助成）、中学生の芸術鑑賞機会の充実	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	1,992千円	主な事業実績	保護者の経済的負担を軽減し、子どもたちの活躍の場を広げるため、全国、国際大会への参加経費の一部を助成しました。
決算額	1,988千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	① 10 1 4	金額 1,988千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
36	「輝け！栗っ子」児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。	努力賞（学校・社会生活での努力）・奉仕賞（社会や個人への奉仕活動）・親切賞（親切な行い）・体育賞・学芸賞の各表彰を実施	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	111千円	主な事業実績	各学校からの受賞対象者の推薦に基づき、児童生徒の優れた活動等に対し表彰を行いました。
決算額	53千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	① 10 1 4	金額 53千円

施策③ ふるさと総がかりによる教育の推進

- 子どもの豊かな育ちを支える地域総ぐるみ教育の実現
- 地域を題材にした学校での「ふるさと教育」の推進
- 各家庭における経済的負担の軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
37	充実 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。	各小中学校に学校運営協議会を設置し、地域住民・関係者の声を学校経営に反映させた地域とともにある学校づくりの推進	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		858千円				主な事業実績	地域とともにある学校・開かれた学校を目指し全小中学校に学校運営協議会準備委員会を設置し、学校経営に地域住民や保護者の希望を反映させ創意工夫の魅力ある学校づくりに向け準備を進めました。 また、保護者や地域とのつながりを大切にした土曜授業を角田小学校及び継立小学校においてそれぞれ10回実施しました。
決算額		687千円					
(財源内訳)	国庫	379千円					
	道費	161千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	147千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	4	687千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
38	児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。	通学路の定期点検（危険箇所把握）と校区安全マップの作成	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		40千円				主な事業実績	関係者により通学路合同点検を実施し、危険箇所の確認と対策を協議しました。 また、協議結果を校区安全マップに反映させ、児童・生徒へ配布しました。
決算額		21千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	21千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	10	1	4	21千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
39	ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。	社会科・理科副読本の作成と利活用（小学校3年生に配布）	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		708千円				主な事業実績	ふるさと栗山に対する誇りと愛情を育てる教育を推進するため、学習指導要領に基づいた社会科副読本を作成し、小学3年生に配布しました。
決算額		708千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	708千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	4	708千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
40	各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。	要保護・準要保護児童生徒の就学援助（医療費・学用品費など）、幼稚園への通園を希望する保護者の負担軽減 など	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		31, 970千円				主な事業実績	児童生徒の教育活動に係る費用の一部を軽減するため、教材費や学校行事経費、中学生部活動費等に対する学校交付金を交付したほか、低所得家庭に対しては、就学に係る費用（学用品費・体育実技用品、修学旅行費）助成である児童生徒就学援助金を支給しました。 また、幼稚園に通園する保護者に対し、入園料及び保育料の減免を行いました。
決算額		30, 267千円					
（財源内訳）	国庫	4,686千円					
	道費	0千円					
	町債	10,800千円					
	その他	0千円					
	一般	14,781千円					
（参考） 会計別決算額		計	款	項	目		
		①	10	1	4	24,169千円	
		①	10	2	2	1,993千円	
		①	10	3	2	4,105千円	

施策④ 学校施設・設備などの整備

- 学校施設の適切な維持、改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
41	充実 栗山中学校校舎の計画的な改修を行います。	校舎屋上防水工事 【後期展望】校舎外壁塗装の検討	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	平成 27 年度は改修を行っていませんが、栗山中学校改築から 15 年以上が経過している事から、適切な維持管理、改修を行い施設の長寿命化を図ります。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考)	会計別決算額	金額	
		千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
42	新規 栗山中学校体育館の大規模な改修を行います。	非構造部材の耐震化、照明器具 LED 化、外壁改修（断熱）、屋根改修（断熱）、窓の交換、地域開放用玄関の付設	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	平成 27 年度は改修を行っていませんが、体育館建築から 43 年以上経過し老朽化が進んでいる事から、大規模改修を行い、施設の長寿命化を図ります。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考)	会計別決算額	金額	
		千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
43	展望 栗山小学校校舎・体育館の大規模な改修について検討します。	【後期展望】 体育館屋根・外壁改修、内装・床・内壁の改修、非構造部材の耐震化、暖房設備更新の検討 など	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	千円			
決算額	千円			
(財源内訳)	平成27年度の予算配当・執行はありません。			
(参考)	計	款	項	目
会計別決算額	金額			
	千円			

主な事業実績

平成27年度は改修を行っていませんが、校舎・体育館は建築から40年以上経過し老朽化が進んでいること、また、体育館については新技術基準に適合した吊天井ではないことから、後期計画期間中の整備に向けて検討を進めます。

No.	計画事業	事業概要	担当課
44	充実 角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	体育館耐震改修、ボイラー修繕、体育館屋根塗装、屋上防水改修 【後期展望】 校舎外壁塗装の検討	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	38,232千円			
決算額	38,232千円			
(財源内訳)	国庫	13,931千円		
	道費	0千円		
	町債	24,300千円		
	その他	0千円		
	一般	1千円		
(参考)	計	款	項	目
会計別決算額	金額			
	①	10	2	1
	38,232千円			

主な事業実績

体育館の耐震補強吊り天井の補強工事（新技術基準に適合した吊り天井の再設置・防音機能復旧の基準に適合）、バスケットゴールと照明器具等の落下防止工事を実施しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
45	継立小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	体育館屋根塗装 【後期展望】 校舎外壁塗装、屋上防水改修の検討	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	平成 27 年度は改修を行っていませんが、体育館建築から 34 年以上経過し老朽化が進んでいる事から、適切な維持管理、改修を行い施設の長寿命化を図ります。	
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。							千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目			金額
						千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
46	新規 教職員住宅（校長・教頭）を改修します。	住宅新築（栗山小校長・教頭住宅）、住宅改修（栗山中教頭住宅、継立小校長・教頭住宅、角田小校長・教頭住宅）	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		5 1 , 3 7 9千円				主な事業実績	老朽化が進む教職員住宅の計画的な維持・更新を進め、平成 27 年度においては栗山小学校校長・教頭住宅を新築、栗山中学校教頭住宅を改修しました。
決算額		5 1 , 3 4 5千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	44,000 千円					
	その他	0 千円					
	一般	7,345 千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	3	51,345 千円	

施策⑤ 安全・安心な学校給食の提供

- 食生活への正しい理解と食習慣の形成
- 学校給食における地産地消の推進
- 安心・安全な学校給食の提供に向けた環境整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
47	栄養教諭による食育事業を実施します。	学校行事などでの食育講話・料理教室の実施、児童生徒の発達に合った食育指導の実施	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	36千円	主な事業実績	栗山小学校 6年生約 70 人を対象に、栗山町産食材を利用した調理実習を実施しました。 また、栗山中学校 P T A 約 20 人を対象に、栗山産小麦粉を使用したうどん作りを実施しました。
決算額	36千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	① 10 5 5	金額 36千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
48	地元・道内産の食材活用を推進します。	米・野菜・小麦粉など、地元産を活用した給食提供を推進	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	町内産食材については可能な限り利用し、町内産では揃えられない食材については、道産、国産の食材を積極的に利用しました。 また、毎月発行する給食だよりにおいても使用食材の情報を発信しました。
決	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
(参考)	会計別決算額	① 10 5 5	金額 千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
49	安全な給食提供のため、備品・食器などの計画的な更新を行います。	計画的な備品・食器などの更新	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	2,936千円	主な事業実績	破損や変色したカレー皿と汁カップ器や、老朽化により変形・破損した食缶・コンテナ等を更新しました。
決算額	2,472千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	① 10 5 5	2,472 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
50	【展望】学校給食センターの整備(建替え)について検討します。	【後期展望】 アレルギー対応を含め、最新設備を有する給食センターの整備について検討	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	給食センター建設から25年が経過してしており、設備の老朽化が進んでいます。 児童・生徒数の減少も踏まえ、給食センターの運営や整備内容を検討していきます。
決算額	千円		
(財源内訳)	平成27年度の予算配当・執行はありません。		
(参考)	会計別決算額	金額	
		千円	

施策⑥ 北海道介護福祉学校の運営

- 高齢化社会を支える人材の育成
- 学校施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
51	優秀な介護福祉士を毎年 80 名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。	2 年制専修学校として介護福祉士を養成、学生確保対策（定員 80 名の入学者確保）、地域と連携した福祉教育の推進 など	介護福祉学校事務局

実績

最終予算額		1 3 1, 4 4 5 千円	
決算額		1 2 7, 8 3 7 千円	
(財源内訳)	国庫	千円	
	道費	10, 518 千円	
	町債	千円	
	その他	48, 977 千円	
	一般	68, 342 千円	
(参考)		計 款 項 目	金額
会計別決算額		① 2 1 16	1, 012 千円
		⑥ 1 1 1	126, 770 千円
		⑥ 2 1 1	55 千円

主な事業実績

少子化や好景気による高卒求人増などで入学者が減っていますが、平成 27 年度も入学者確保に努め、平成 28 年 4 月入学者数は 42 人（前年比+3 人）でした。

また、平成 28 年 3 月卒業生 46 人は、就職希望者 45 人が全員介護職として就職し、開校以来 27 年間就職率 100% を継続しました。

なお、在校生は 1 年間に 101 件、延べ 382 人がボランティアを行うなど、町内外の様々な活動に貢献しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
52	介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。	ボイラー更新、実習室冷暖房設備整備、校舎外壁塗装 など 【後期展望】 講堂・学生寮外壁改修、屋上防水改修 など	介護福祉学校事務局

実績

最終予算額		1, 772千円				主な事業実績	講堂の音響設備更新（499 千円）、女子寮の浴室の改装（681 千円）、学校暖房用ボイラーの部品交換（384 千円）などを行いました。
決算額		1, 772千円					
（財源内訳）	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	1, 772 千円					
	一般	0 千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		⑥	1	1	1	1, 772 千円	

施策⑦ 栗山高校の魅力づくり

- 就業機会の拡大や生徒の資質向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
53	新規 栗山高校生を対象とした資格取得支援を行います。	語学・簿記・パソコン検定など就業機会の拡大が見込まれる資格取得経費の一部を助成	教育委員会 学校教育G

実績

最終予算額		1 5 8千円				主な事業実績	保護者の経済的負担の軽減や、地元企業への即戦力となる生徒の育成するため、延べ 120 人の生徒に対し資格取得試験費用の半額を補助しました。
決算額		1 5 8千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	158 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	4	158 千円	

(2) 生涯教育

計画策定時の主な課題

- ◆ 青少年育成事業に参加できる子どもが限られており、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 高齢者大学の受講生の固定化・高齢化が進んでおり、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 図書館と教職員との連携強化により、図書館システムを活用した学校での読書活動の充実に向けた取り組みが必要となっています。
- ◆ 町民に親しまれる生涯学習情報の発信（マナビィの発行等）が必要となっています。
- ◆ 老朽化が進む社会教育施設の計画的な改修が必要となっています。

施策① 幼児・家庭教育の推進

- 家庭の教育力向上とより良い家庭環境づくりの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
54	家庭教育の機能を高める啓発・支援を行います。	家庭教育講演会・学習会等の開催、相談ボランティアの育成、家庭教育サポート企業との連携推進 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	児童生徒の問題行動等、家庭教育に関わる課題がある中で、より良い家庭環境を築くため、家庭教育ナビゲーター養成研修会の実施し、6人の保護者が参加しました。
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		千円		
			千円		
			千円		
			千円		
			千円		
(参考)	計	款	項		
会計別決算額					千円

施策② 青少年教育の推進

- 人間性豊かな青少年の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
55	自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。	くりやまキッズクラブ（青少年体験学校）の実施、夏・冬の宿泊体験事業（アドベンチャー・スクール）の実施 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		55千円				主な事業実績	町内の小学 4～6 年生を対象とした、くりやまキッズクラブを実施しました。
決算額		34千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	34千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	【主な実施内容】 ○農作業体験：27 人 ○酪農学園大学訪問：32 人 ○アドベンチャースクール：28 人 ○ピザ作り：34 人 ○陶芸体験：31 人 ○餅つき体験：21 人 ○アドベンチャースクール：24 人
会計別決算額		①	10	4	2	34千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
56	青少年育成会活動を支援します。	栗山町青少年育成会事業の支援（子ども会リーダー研修、かるた大会、各地区・単位育成会の活動支援など）	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		864千円				主な事業実績	青少年の健全育成と明るく豊かな地域社会を構築するため、青少年育成会活動を支援しました。
決算額		864千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	864千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	【青少年育成会の主な活動】 ○リーダー研修会、かるた大会への出場 ○各地区・単位育成会への支援
会計別決算額		①	10	4	1	864千円	

施策③ 成人・高齢者教育の推進

- 町民への多様な学習機会の提供と地域活動の担い手育成
- 高齢者による学びの機会と生きがいづくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
57	町民の多様な学びの機会づくりを行います。	町民講座・協定大学有識者による「くりやま地域大学」など町民の学習機会の提供、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		697千円				主な事業実績	多様な学習ニーズに対応した講座を開催したほか、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行によって学習機会等を周知、報告しました。 【主な講座開催実績】 ○町民講座 ・英会話講座：10回・35人 ・子育て講座：1回・74人 ・陶芸教室：1回・10人 ○地域大学：8回・43人 ○出前講座：1回・8人
決算額		410千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	24千円					
	一般	386千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	
会計別決算額		①	10	4	2	410千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
58	充実 高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。	高齢者大学「いきいきスクール」「いきいき塾」の実施、定年世代向け（概ね55歳以上）町民講座の開催 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		3 1 8千円				主な事業実績	高齢者大学「いきいきスクール」を実施しました。
決算額		2 7 8千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	4千円					
	一般	274千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	【主な実施内容】 ○開校式・講演会：123人 ○交通防犯教室（道警音楽隊）：219人 ○バス研修（開拓記念館他）：66人 ○学校祭・講演会：105人 ○講演会「雅楽」音楽と健康：102人 ○その他：大正琴や書道などのクラブ活動、記念誌発行など
会計別決算額		①	10	4	2	278千円	

施策④ 図書館活動の推進

- 町民の心豊かで文化的な暮らしを支える読書活動の普及

No.	計画事業	事業概要	担当課
59	町民の読書活動を支援します。	学校図書室との連携を推進、子育てブックスタート事業の実施、栗山ふるさと文庫事業の実施 など ＊指定管理者委託事業	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		4 3, 4 4 7千円				主な事業実績	児童・生徒のための読書啓発を推進するため、木製本箱（ミニくり号）に 30 冊を載せ、各学級を巡回させたほか、司書が週 1 回学校図書室に出向き、本の整理・分類・配架を見直しました。 また、「第 2 次栗山子どもの読書活動推進計画」を策定しました。
決算額		4 3, 4 4 6千円					
（財源内訳）	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	43, 446 千円					
（参考）		会計	款	項	目	金額	
会計別決算額		①	10	4	4	43, 446 千円	

施策⑤ 社会教育施設の整備

- 社会教育施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
60	老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。	農村環境改善センター管理棟屋上防水改修・テーブル更新、ファールルの森観察飼育舎施設等改修、南部公民館ボイラー改修 など 【後期展望】 ふれあいプラザ陸屋根改修の検討、図書館・開拓記念館屋上防水改修の検討	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		6, 4 3 9千円				主な事業実績	○南部公民館
（財源内訳）	決算額	6, 3 7 5千円					・ステージバック幕取替修繕
	国庫	0千円					・自動ドア光線スイッチ取替修繕
	道費	0千円					○農村環境改善センター
	町債	0千円					・会議用テーブル購入
	その他	0千円					○図書館
	一般	6, 375千円					・既存書架各種固定修繕
（参考） 会計別決算額	計	款	項	目	金額		○カルチャープラザ「E k i」
	①	10	4	3	456千円		・会議用テーブルキャスター購入
	①	10	4	4	999千円		・エレベーター制御盤内基盤等部品交換修繕
	①	10	4	6	1, 263千円		・自動ドア修繕
	①	10	4	10	3, 657千円		・連絡通路床修繕
							・給湯室配管補修修繕

施策⑥ ふるさと教育の推進

- 学校・家庭・地域が一体となった「ふるさと教育」の推進
- 町民のふるさとへの愛着・誇り、地域や人と関わり合う力の醸成

No.	計画事業	事業概要	担当課
61	地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。	地域教育協議会事業（ふるさと教育交流会など）の実施、学校支援活動の実施、普及啓発活動 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		370千円			
決算額		353千円			
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	0千円			
	一般	353千円			
(参考)		会計	款	項目	金額
会計別決算額		①	10	4 1	353千円

主な事業実績

地域教育協議会を7回開催し、ふるさと教育に関わる熟議を行ったほか、教員や保護者、学校関係者を対象としたふるさと教育交流会を開催し、角田小学校でのふるさと教育の取り組み事例の発表、「子どもたちに経験させたいこと」をテーマとして参加者による意見を交換を行いました。

(3) 自然環境教育

計画策定時の主な課題

- ◆ハサンベツ里山計画実行委員会など関係団体の高齢化が進み、新たな担い手づくりが課題となっています。また、オオムラサキの森づくり、ハサンベツ里山づくりなどの継続性の確保が必要となっています。
*子どもの体験教育を継続するためには、自然環境の維持・保全が必要
- ◆今後の自然教育の方向性や取り組みをまとめた、中長期計画の策定が必要となっています。

施策① 自然環境の保全・再生

- 身近な自然・里山環境の保全・再生と教育環境づくり
- 保全・再生運動に対する町民意識の向上と担い手づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
62	充実 国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。	オオムラサキ育成・公開（観察飼育舎）、オオムラサキ生息環境の保全・再生、自然繁殖の推進 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		10,559千円				主な事業実績	ファールブルの森でオオムラサキの飼育・公開を行い、オオムラサキの生態等の学習機会を提供したほか、角田小学校・継立小学校において幼虫の観察飼育を実施しました。 また、ふれあいプラザでは、水生生物の生態等の学習を提供しました。 【来館者数】 ○ファールブルの森：3,835人 ○ふれあいプラザ：8,829人
決算額		10,546千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	7,057千円					
	一般	3,489千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	10	4	9	10,546千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
63	充実 ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。	里山環境の保全・整備、里山計画実行委員会など関係団体の活動支援、新たな担い手発掘・育成支援 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		2, 5 6 2千円				主な事業実績	ハサンベツ里山計画実行委員会への活動を支援し、有志による整備作業等により、里山の自然体験フィールドを保全しました。 また、夕張川自然再生協議会への活動を支援し、夕張川支流の環境を整備しました。 【主な整備実施状況】 ○ハサンベツ里山 ・ハサンベツの日 7回（5～11月第2日曜日） ○夕張川支流 ・河川清掃、サケの稚魚放流
決算額		2, 5 6 2千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	130千円					
	一般	2, 432千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	10	4	9	2, 562千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
64	新規 自然・里山環境の保全・再生に係る町の方針を宣言し、人と自然との共生を推進します。	「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」の実施、記念事業の開催、自然教育中長期計画の策定、担い手・人材確保（専任職員の配置検討、地域おこし協力隊導入検討） など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		15,756千円				主な事業実績	「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」に向けた自然環境保全中長期計画策定に取り組み、アドバイス報告書を作成しました。 また、自然・里山環境の保全・再生運動の担い手・人材確保するため、地域おこし協力隊を3人委嘱しました。
決算額		15,669千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	15,669千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	4	9	15,669千円	

施策② ふるさと自然体験教育の推進

- 児童生徒等の豊かな感性、たくましく成長する力などを育む自然体験教育の推進
- 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の拠点活用と適正な維持管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
65	充実 「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用を図ります。	自然体験プログラム指導者の確保、プログラム集・指導事例集作成、町内児童生徒の体験学習支援、ボランティア養成 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	15,734千円	主な事業実績	町内の児童・生徒へのふるさと自然体験プログラムの提供、指導者の育成を行ったほか、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスの利活用のため利用者向けの自然体験プログラム集等を作成しました。 【主な実績】 ○町内児童生徒自然体験プログラム利用：3,353人 ○ふるさと自然体験プログラム集発行 ○ふるさとカレンダー発行：400部発行 ○川の指導者養成講座：1回開催
決算額	15,720千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	① 2 1 23	648千円	
	① 10 4 9	15,072千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
66	新規 教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。	ふれあいプラザへの観察飼育舎設置（移設）、ファープルの森観察飼育舎の撤去・休憩所設置 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	ファープルの森観察飼育舎と、ふれあいプラザの機能を統合した新施設の検討を進めました。
決算額	千円		
(財源内訳)	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考)	会計別決算額	金額	
		千円	

(4) スポーツ

計画策定時の主な課題

- ◆総合型地域スポーツクラブと町事業との連携による、効果的な事業展開が必要となっています。
- ◆スポーツ行事の参加者が減少傾向にあり、また、少子化に伴い、種目によっては少年団活動が縮小傾向にあるため、スポーツ団体の育成が必要となっています。
- ◆老朽化した体育施設の修繕が多発しており、計画的な維持・補修が必要となっています。

施策① 生涯スポーツの推進

- 年齢や技術等の段階に応じた生涯スポーツの環境づくり
- 大学等の合宿誘致による交流人口拡大と地域スポーツ団体の競技力向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
67	充実 年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。	体育イベント（歩けあるけ運動など）・体育大会（ソフトボール・ミニバレーなど）の開催、スポーツ少年団本部の支援、総合型地域スポーツクラブへの事業委託 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	3,577千円	主な事業実績	教育委員会主催による歩けあるけ運動やウォークラリー、社会体育施設指定管理者によるソフトボール大会やパークゴルフ大会等を実施したほか、総合型地域スポーツクラブへの委託事業として、フィットネスプログラムを実施しました。 また、競技力向上と青少年の健全育成を図るため、体育協会・スポーツ少年団本部に対して運営費を補助しました。
決算額	3,572千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	① 10 5 1	3,572 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
68	スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	大学などのスポーツ合宿誘致 (10人以上・3泊以上の団体に、くりやまギフトカードを提供)	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		60千円				主な事業実績	【主な受け入れ実績】 ○スポーツ合宿等歓迎記念品該当合宿 ・札幌学院大学：4泊5日・11人 ・北海道造形美術学院：3泊4日・36人 ・東海大学：4泊5日・32人 ○スポーツ合宿等歓迎記念品非該当合宿 ・バドミントン、野球など：6件・430人
決算額		30千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	30千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	5	1	30千円	

施策② スポーツ施設の整備

- スポーツ施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
69	老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	スポーツセンター、公園・町民球場、水泳プール、ふじスポーツ広場、テニスコートなど体育施設の計画的な修繕・改修、総合グラウンドの4種公認の継続	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		18,370千円				主な事業実績	栗山公園球場スコアボード、栗山町角田・継立水泳プール水槽、栗山町総合グラウンド陸上競技場公認整備、スポーツセンターアリーナ誘導灯など16件の修繕を行い、生涯スポーツを行う場が良好な状態に保たれました。
決算額		18,329千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	5,000千円					
	その他	0千円					
	一般	13,329千円					
(参考)		会計	款	項目	金額		
会計別決算額		①	10	5 2	16,382千円		
		①	10	5 3	1,947千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
70	展望 ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	【後期展望】 芝の全面人工芝張替、付帯施設改修の検討	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	ふじスポーツ広場の芝の回復を務め延命措置を実施しており、大規模改修について後期計画で検討します。	
決算額	(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。						千円
								千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目			金額
						千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
71	展望 栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	【後期展望】 リフト更新、ロッジ建替え、圧雪車更新の検討	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		1, 237千円				主な事業実績	後期計画での実施を予定しており、平成 27 年度においては大規模改修の検討をすすめていませんが、スキー場運営を維持するため圧雪車を修繕しました。
決算額		1, 237千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	1,237千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	5	4	1,237千円	

(5) 芸術・文化

計画策定時の主な課題

- ◆文化連盟加盟団体の減少と会員の高齢化が進み、各文化祭への参加者層も高齢化・固定化傾向にあるため、現役世代の参加のきっかけとなる取り組みが必要となっています。
＊各文化団体・活動の後継者育成が今後の課題
- ◆小林酒造などの歴史的な建造物の保全・活用に向けた制度の構築が必要となっています。

施策① 芸術・文化活動の推進

- 優れた芸術・音楽鑑賞機会の提供
- 文化団体の育成と町民による芸術・文化活動の推進
- 町内で創作活動を行う芸術家への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
72	町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。	小学校での演劇鑑賞事業、美術展など芸術鑑賞事業、札幌ひなまつりコンサートなどの音楽鑑賞事業の実施 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		4, 3 9 2千円				主な事業実績	カルチャープラザ運営実行委員会や、札幌ひなまつりコンサート実行委員会への支援等により、芸術鑑賞の機会を提供しました。
(財源内訳)	決算額	4, 3 8 2千円					
	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	4, 0 0 0 千円					
一般	382 千円						
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	4	5	4, 3 8 2 千円	

【主な事業内容】
○伊藤正絵画展：来場者 224 人
○演劇鑑賞事業：町内小学生・教職員計 551 人
○ヤム・ニ・ウシ美術展：来場者 132 人
○札幌ひなまつりコンサート：来場者 700 人

No.	計画事業	事業概要	担当課
73	町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。	芸術祭・音楽祭の開催支援、芸能祭・菊花展など栗山町文化連盟事業の支援	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		3 1 0千円				主な事業実績	芸術祭実行委員会、音楽祭実行委員会の活動を支援し、くりやま芸術祭、くりやま音楽祭を開催したほか、栗山町文化連盟の活動を支援し、芸能祭・菊花展を開催しました。
決算額		3 1 0千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	310 千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	10	4	5	310 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
74	芸術創造のまちづくりを推進します。	芸術家による工房新築・改築の支援(奨励金)、個展開催支援(奨励金)、あさひ工房での工房体験教室の実施	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額		6 7 8千円				主な事業実績	創作活動施設であるあさひ工房にて、工房体験教室事業を2回開催し、30人が参加しました。 また、あさひ工房の電気釜とヒーターを修繕しました。
決算額		4 2 3千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	423千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	10	4	5	423千円		

施策② 文化財保護・活用の推進

- 文化財及び伝統文化に対する町民理解・意識の高揚
- 歴史的文化財の保護・活用

No.	計画事業	事業概要	担当課
75	ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。	文化財の指定・文化財保護の啓発活動の推進、栗山町開拓記念館事業の推進 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	6,796千円	主な事業実績	開拓記念館において、収蔵品を活用したテーマ別の特別展示を4回開催したほか、参加型のイベントにより栗山町の歴史や文化の情報を発信しました。 また、栗山町文化財保護委員会を4回開催しました。			
決算額	6,730千円					
(財源内訳)	国庫		【平成27年度末の状況】 ○開拓記念館収蔵品数：7,454点 ○町指定文化財：10件			
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	金額					
	① 10 4 5	84千円				
	① 10 4 7	6,646千円				

No.	計画事業	事業概要	担当課
76	新規 歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。	歴史的建造物などの現状調査、有識者・所有者などを含めた検討会議の開催、整備活用計画の策定 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	2,970千円	主な事業実績	国の登録有形文化財（建造物）である小林酒造の酒蔵群について、専門家による建造物の現況に関する実測調査・分析、活用調査を実施し、今後の保存計画及び支援制度設計等に係る基礎資料を作成しました。			
決算額	2,970千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	金額					
	① 10 4 5	2,970千円				

(6) 国際・地域間交流

計画策定時の主な課題

- ◆姉妹都市である宮城県角田市との交流を継続的に推進する必要があります。
 - ◆児童生徒等の国際感覚を養うため、国際交流の機会づくりを推進する必要があります。
- ＊少年ジェット派遣事業は、英語圏以外への派遣について検討が必要

施策① 国際交流の推進

- 国際社会に対応できる青少年の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
77	少年ジェット派遣事業を行います。	町内在住の中高生（８人程度）の海外派遣研修を実施 （８泊程度で英語圏への派遣を予定）	教育委員会 社会教育G

実 績

最終予算額		3, 6 4 5千円				主な事業実績	外国でのホームステイや体験、交流を通じて国際感覚を養うとともに、豊かな感性や創造力を備えた青少年を育成するため、中高生 8 人をオーストラリアに派遣しました。
決算額		3, 6 3 0千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	1, 900 千円					
	その他	0 千円					
	一般	1, 730 千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	1	16	3, 630 千円	

施策② 地域間交流の推進

- 多様な分野での地域間交流の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
78	姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業を行います。	姉妹都市子ども交歓のつどい、姉妹都市青年交歓のつどい、被災地児童生徒の受入・交流事業の実施	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	1,670千円				
決算額	1,670千円				
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	0千円			
	一般	1,670千円			
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額
	①	2	1	15	1,170千円
	①	10	4	1	500千円
主な事業実績 小中学生及び勤労青年を対象として、姉妹都市である宮城県角田市との交流事業を実施したほか、福島第一原発事故の影響により野外での活動が制限されている子供たちを「ふくしまキッズ受入交流事業」により受け入れ、地元の児童生徒との交流を行いました。					

Ⅲ 医療・保健・福祉

健康に暮らせるふるさとづくり

(1) 保 健

計画策定時の主な課題

◆特定健診・各種がん検診の受診率向上対策、健（検）診受診に対する町民意識の醸成が必要となっています。

＊特定健診受診率 近隣町 58.3% : 栗山町 23.7%

＊がん検診受診率 近隣町 38.5% : 栗山町 14.2%

◆健康づくり推進協議会等と連携し、地域全体の健康づくりの意識・環境を高める取り組みが必要となっています。

施策① 生活習慣病予防・重症化予防の推進

●「がん」及び生活習慣病予防対策による健康寿命の延伸

No.	計画事業	事業概要	担当課
79	がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、若年者等のがん検診受診勧奨強化・無料クーポン検診の実施など（二次予防）	保健福祉課 健康推進G

実 績

最終予算額	10,364千円	主な事業実績	町内で受けられる集団検診（しゃるるを会場）では、日曜日開催を含めて年6回、町外の健診機関へのバス送迎がある集団検診は年3回、医療機関で受けられる個別検診は通年実施と、受けやすい日程や会場を選ぶように実施し、延べ1,158人が受診しました。				
決算額	10,358千円						
(財源内訳)	国庫						
	道費						
	町債						
	その他						
	一般						
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額		
	①	4	1	2	4,696千円		
	②	8	2	1	5,662千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
80	充実 脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、特定健診と保健指導、若年者受診勧奨強化、脳検診対象拡大など（二次予防）	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	13,066千円	主な事業実績	栗山町国保被保険者対象の特定健診は延べ757人、若年者を対象とした「29歳34歳無料健診」は延べ45人、75歳以上を対象とした「いきいき健診」は延べ75人など、生活習慣病予防を目的とした健診を受診しました。 脳血管疾患の早期発見を目的とした脳検診では、岩見沢脳神経外科に委託した「脳ドック」を開始し、対象年齢に65歳70歳を追加して実施し、延べ296人が受診しました。			
決算額	12,874千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	4	1	2	4,296千円	
	②	8	1	1	8,578千円	

施策② 生活習慣改善活動の推進

- 生活習慣病予防につながる適切な生活習慣形成の推進
- 口腔機能の維持と歯の喪失防止

No.	計画事業	事業概要	担当課
81	バランスのとれた食生活や運動習慣の習得など、より良い生活習慣への改善を推進します。	食生活改善の啓発・栄養・食に関する教育など（食の健康推進）、運動習慣の習得や禁煙・適正飲酒など生活習慣改善の推進	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	1,873千円	主な事業実績	食の健康づくり推進事業として、食と口腔機能をテーマにした講演会「元気を支える食と口」を開催し、39人が参加しました。 また、健康づくり推進協議会と連携し、「健康づくりおでかけ教室」を14回開催し、331人が参加しました。			
決算額	1,845千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	4	1	2	1,845千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
82	充実 乳幼児「う歯」予防、成人・高齢者の歯周病予防など、口腔の健康づくりを推進します。	子どもの「う歯」予防の推進（健診・フッ化物洗口など）、成人・高齢者の歯の歯周病予防、よい歯コンクール事業の実施 など	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額		1, 2 6 4千円				主な事業実績	口腔の健康づくりのため、妊娠期から乳幼児期の歯科健診、4歳児5歳児を対象としたフッ化物洗口を実施しました。
決算額		1, 2 4 2千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	1, 242千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	4	1	2	1, 242千円	

施策③ 健康を守る地域環境づくり

- 妊娠前から乳幼児・学童期までの親子の健康づくり
- こころの健康を支える地域環境づくり
- 町民が主体的にかつ連帯して取り組む健康づくり運動の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
83	充実 妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。	特定不妊治療助成、妊婦保健指導、家庭訪問等の育児支援、学童期の生活習慣形成、任意予防接種費助成の実施 など	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額		2, 7 7 8千円			
決算額		2, 7 6 9千円			
(財源内訳)	国庫	423 千円			
	道費	0 千円			
	町債	0 千円			
	その他	0 千円			
	一般	2, 346 千円			
(参考)		会計	款	項	目
会計別決算額		①	2	1	23
		423 千円			
		①	4	1	2
		2, 346 千円			

主な事業実績

妊娠期から幼児期に至るまで、子育て支援施策と連携し、母子手帳の交付（妊婦保健指導）、特定不妊治療の費用助成、生後1か月健診の費用助成、乳幼児健診などの母子保健事業を実施しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
84	ストレス要因の軽減や早期発見・支援など、こころの健康づくりを推進します。	啓発活動（一次予防）、自殺対策・産後うつ対策など（二次予防）、ハイリスク者等の専門個別支援（三次予防） など	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	845千円	主な事業実績	インターネットやスマートフォンで簡単に健康チェックができる、メンタルヘルスシステム「こころの体温計」を継続運用しました。			
決算額	799千円		こころの健康づくり講座として子育てママを対象に、花育（花と触れ合う体験）と運動でリフレッシュを図り、全町民対象に、ストレス対処法を学ぶ講座を計2回実施し、延べ21組の親子が参加しました。			
(財源内訳)	国庫		また、悩みを抱えている方をサポートをできる人材養成を目的とした講座を民生委員・全町民を対象に計2回開催し、延べ126人が参加しました。			
	道費					
	町債					
	その他					
(参考)	一般					
会計別決算額	① 4 1 2	金額				
	799千円					

No.	計画事業	事業概要	担当課
85	充実 地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。	健康づくり推進協議会の活動支援、企業・団体等の健康づくり活動助成、「健康づくり応援団」事業所・「禁煙の店」認定 など	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	610千円	主な事業実績	町民主体で健康づくり活動を行っている「健康づくり推進協議会」への活動を支援しているほか、健康づくりの要素である「笑い」を重点テーマとして事業を実施し、平成27年度は、「健康づくりおでかけ教室」として笑いヨガ・笑い文字の体験講習を栗山・角田・継立地区で計14回開催、延べ331人の参加がありました。			
決算額	610千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
(参考)	一般					
会計別決算額	① 4 1 2	金額				
	610千円					

No.	計画事業	事業概要	担当課
86	新規 健康づくりに係る町の方針を宣言し、町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。	「（仮称）健康寿命延伸のまちづくり宣言」の実施、栗山町国民健康保険「健康チャレンジ奨励金」の創設 など	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	188千円	主な事業実績	平成27年9月に「健康寿命延伸のまちづくり宣言」を行い、記念講演会「笑って延ばそう健康寿命～笑いは健康の源～」を開催。町の健康づくりの方針を、広く町民に周知しました。			
決算額	188千円					
(財源内訳)	国庫		0千円			
	道費		0千円			
	町債		0千円			
	その他		0千円			
	一般		188千円			
(参考) 会計別決算額	会計別決算額	①	4	1	1	金額 188千円

施策④ 健幸のまちモデルの構築

- 健康で生きがいある暮らしができるまちづくりモデルの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
87	新規 健康で生きがいをもてる新しい都市モデルの調査研究を進めます。	スマート・ウェルネス・シティ（健幸都市）首長研究会への参加、庁内プロジェクト検討チームの設置・調査研究（先進事例等）	保健福祉課 健康推進G

実績

最終予算額	224千円	主な事業実績	5月と11月に行われたスマート・ウェルネス・シティ首長研究会に参加し、先進事例を学ぶとともに参加市町村や関係者と情報交換を行いました。 また、庁内関係各課で構成するスマート・ウェルネス・シティ庁内研究会を設置し、事業推進のための実施体制を構築しました。			
決算額	125千円					
(財源内訳)	国庫		0千円			
	道費		0千円			
	町債		0千円			
	その他		0千円			
	一般		125千円			
(参考) 会計別決算額	会計別決算額	①	4	1	1	金額 125千円

(2) 地域医療

計画策定時の主な課題

- ◆高齢化の進展により病床数には限度があるため、入院中心の医療から、在宅療養をはじめとする医療と介護が連携したサービス体制の構築が必要となっています。
*医療と介護の相互理解・連携の推進が必要
- ◆深刻な医師不足により日赤病院の医師確保が困難な状況にあります。また、施設の老朽化（築33年）が進んでいる状況もあり、地域の医療水準のあり方と医師確保の問題の具体的な検討が必要となっています。
*日赤病院の中核医療機関としての役割、病院施設のあり方について検討が必要

施策① 医療水準の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る医療供給体制の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
88	地域に必要な医療水準の維持に努めます。	赤十字病院の医師確保を助成（循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科等）、医療関係者などによる地域医療対策委員会の開催、将来的な医療環境整備を検討する町民検討委員会の設置 など	保健福祉課 地域医療G

実績

最終予算額		33,991千円					主な事業実績	町内にない診療科（循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科・精神科・透析）の確保や、町内にあるが、一部を日赤病院にも確保が必要な診療（整形外科）体制を構築するために日赤病院に対して助成しました。 また、地域医療対策の推進を図ることを目的とした栗山町地域医療対策委員会を開催し、「町の医療環境整備を検討する町民委員会」等について協議しました。
決算額		32,720千円						
（財源内訳）	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	24,953千円						
	一般	7,767千円						
（参考） 会計別決算額		計	款	項	目	金額		
		①	4	1	3	32,720千円		

施策② 在宅医療提供体制の推進

- 医療と介護の一体的な提供などによる在宅療養生活の支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
89	充実 在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。	訪問看護事業の推進、地域医療対策委員会による推進策の検討 【後期展望】 医療機関等の在宅医療参入への支援制度の検討、町民による在宅医療サービス等の利用促進制度の検討	保健福祉課 地域医療G

実績

最終予算額	700千円	主な事業実績	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団への会員となることで、長沼地域訪問看護ステーションによる訪問看護事業の利用が可能となり、297人、1,018回の利用実績がありました。
決算額	700千円		
(財源内訳)	国庫	0千円	
	道費	0千円	
	町債	0千円	
	その他	0千円	
	一般	700千円	
(参考)	会計別決算額	① 4 1 3	金額 700千円

施策③ 救急医療体制の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る救急医療体制の維持・確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
90	充実 初期救急医療の確保に努めるとともに、二次救急病院への支援をします。	赤十字病院による夜間・休日救急医療への助成、適切な救急医療受診に関する町民啓発、看護師等による 24 時間電話救急医療相談窓口（札幌市事業）の利用	保健福祉課 地域医療 G

実績

最終予算額		68, 545千円				主な事業実績	初期及び二次救急医療に対応可能な体制確保を推進するために、栗山赤十字病院に対し助成を行いました。 また、町民の安心確保及び救急医療の適正化を図るため、町内において、救急車を呼ぶかどうか迷った際に年中無休 24 時間、看護師に電話による救急医療相談ができるサービス「救急安心センターさっぽろ」に参加しました。	
決算額		68, 542千円						
(財源内訳)	国庫	2,087千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	23,800千円						
	一般	42,655千円						
(参考)		計	款	項	目			金額
会計別決算額		①	2	1	23			2,084千円
		①	4	1	3	66,458千円		

(3) 児童福祉

計画策定時の主な課題

- ◆就労形態、急な用事など、家庭の状況に応じたきめ細かい子育て支援が求められています。
- ◆少子化、核家族化が進む中、子育ては地域社会全体で支える必要があります。
- ◆幼児期の子育て支援を充実するために、施設等の環境整備が必要となっています。

施策① 子育て家庭への支援

- 妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援の充実
- 子育て家庭の経済的な負担軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
91	新規 妊娠・出産・子育てに関する、総合的な情報提供と相談機能を充実します。	ファイナンシャルプランナーによるマネープラン相談の実施、妊娠・出産・子育て等に関する総合情報誌・ポータルサイトの作成	若者定住推進室

実績

最終予算額		3 2 2千円				
(財源内訳)	決算額		2 8 6千円			
	国庫	285 千円				
	道費	0 千円				
	町債	0 千円				
	その他	0 千円				
	一般	1 千円				
(参考)		計	款	項	目	金額
会計別決算額		①	2	1	22	286 千円

主な事業実績

若者・子育て世代が抱える将来的な経済面での不安解消を図るため、ファイナンシャルプランナーによる町民講座と個別相談会を実施しました。

町民講座は、6月に「はじめての家づくりと住宅に関するお金の話」、9月に「家計簿で悩みを解決～赤字会計から抜け出すために」、1月に「我が家の教育資金計画～進学費用の現状と対策～」の計3回開催し、延べ35人が参加しました。

また、個別相談は14件実施し、若者・子育て世代が抱える経済面での悩みの解消に効果がありました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
92	充実 子ども医療費を助成します。	高校３年生までの医療費を助成（町外医療機関での受診は入院のみ、ただし未就学児は町外通院も助成対象）	住民生活課 住民・国保G

実績

最終予算額		34,590千円				主な事業実績	育児家庭への経済的負担を軽減し子育てのしやすい環境づくりを推進するため、高校３年生までのお子さんへの医療費を助成しました（平成27年４月から、対象年齢を高校３年生までに拡大しました）。 ○対象者数：1,449人（平成26年度1,221人）
決算額		29,608千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	5,693千円					
	町債	22,100千円					
	その他	220千円					
	一般	1,595千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	3	2	1	29,608千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
93	充実 子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実に図ります。	「（仮称）子ども健やか育み宣言」に基づく各種支援事業の実施（子育てサロン・相談事業、子育てサポート事業など）、乳幼児育児用品の購入助成 など	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		1 2, 4 7 1千円				主な事業実績	角田・継立地域等での移動子育てサロンは回数を増やし計6回開催、74人が参加しました。	
決算額		1 1, 5 3 9千円					赤ちゃん祝い品は、希望にあった祝い品を贈呈できるよう3種類から選べるようにし64人に贈呈しました。	
(財源内訳)	国庫	9,318千円					新事業の子育て応援券は16事業所と提携し、79人に支給しました。	
	道費	453千円						
	町債	0千円						
	その他	1,010千円						
	一般	758千円						
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目		金額	ファミリー・サポート・センターを立上げ、3月末で46人の会員登録がありました。また、子ども健やか育み宣伝等を通して子育て支援事業を実施しました。
		①	2	1	23		4,136千円	
		①	2	1	24		4,821千円	
		①	3	2	1	2,582千円		

施策② 子どもの健全育成の推進

- 子どもの健全な遊びや活動の場づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
94	児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。	栗山町児童センターの運営、栗山・角田・継立地区の放課後児童クラブの運営	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	18,368千円	主な事業実績	放課後児童クラブは、利用者からのニーズに対応するため、栗山地区の定員を10人増やしました。 子育て支援センターが移転したため、新たに幼児の日の設定保育を21回実施しました。 ○児童センター利用者数：述べ4,581人 ○放課後児童クラブ利用者数：延べ14,566人			
決算額	18,150千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考)	会計別決算額	①	3	2	3	金額
						18,150千円

施策③ 保育・教育の質の向上

- 関係機関と連携した安心安全な保育・教育環境の充実

No.	計画事業	事業概要	担当課
95	充実 民間保育園などと連携を図り、保育・教育の質を高めます。	一時・延長保育、休日預かり事業、新制度による利用者負担額を勘案した保育料軽減の検討 など	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	7,944千円	主な事業実績	出生数は減少していますが、保育所入所児童数は増加傾向にあり、保育園運営法人と連携を図り、入所相談に応じています。 平成27年度に子ども・子育て新システムがスタートしましたが、混乱なく運営することが出来ました。 一時保育は969件、延長保育は603件の利用がありました。			
決算額	7,548千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考)	会計別決算額	①	3	2	2	金額
						7,548千円

施策④ 要保護児童対策の推進

- 子育て・養育困難家庭への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
96	要保護児童対策の強化を目指し、効果的な組織体制づくりを進めます。	児童虐待ネットワーク構築、おや？おや？安心サポートシステムの構築により子育て困難家庭などを支援	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		40千円			
決算額		40千円			
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	40千円			
	一般	0千円			
(参考)		会計	款	項目	金額
会計別決算額		①	3	2 1	40千円

主な事業実績

おやおや？サポートシステムによって関係機関と連携し、増加傾向にある、児童虐待と、多様化する要保護児童の対応について、支援者の事例検討会を開催しました。

施策⑤ 子ども発達支援の充実

- 心身の障害等がある子どもの早期発見と適切な支援
- 心身の障害児・者の健康保持・育成助長と家庭生活の安定・向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
97	充実 心身に障がいや発達の遅れのある子どもを支援します。	特定相談支援・障がい児相談支援の実施、個別指導・小集団指導による子ども発達支援、理学療法士による運動指導の実施 など	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	1,311千円	主な事業実績	臨時職員から正職員へ配置したことで利用者増に対応でき、個別・集団指導を実施した児童は延べ923人と、前年対比で12%利用者が増えました。 また、理学療法士による運動指導は、ニーズが高ことから、平成28年度からは、受入れ人数を増やして実施しています。
決算額	1,241千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
(参考)	一般		
会計別決算額	① 3 2 3	金額	1,241千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
98	心身障がい児の療育サービス利用に係る費用負担の軽減を図ります。	児童発達支援および道立子ども総合医療・療育センター利用に係る費用の一部を助成	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	644千円	主な事業実績	利用者の負担軽減によりサービスを利用しやすい環境を整え、配慮の必要な児童の早期対応につなげるため、40世帯43人に対し、療育サービス（障がい児通所サービス・療育センター通院費）に関する費用助成を行いました。
決算額	644千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
(参考)	一般		
会計別決算額	① 3 2 1	金額	644千円

施策⑥ 施設・環境整備の推進

- 安全で利用しやすい施設環境の整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
99	新規 栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。	栗山町子育て支援センターの移設整備	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		35, 212千円					主な事業実績	旧法務局を改築し、8月に単独施設として移転しました。利用者数は延べ8,635人となり、前年対比で約1割増加しました。 子育てサロン事業の時間も延長し、ニーズに対応することが出来たほか、乳児室や子育てサークルの部屋を作ったことで活動の充実が図られました。
決算額		34, 943千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	2,256千円						
	町債	21,000千円						
	その他	0千円						
	一般	11,687千円						
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目	金額		
		①	3	2	3	34,943千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
100	充実 栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。	施設老朽箇所の改修、トイレ改修、1階手洗い場の温水化、暖房ボイラー交換 など	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		40,284千円					主な事業実績	老朽化による窓の樹脂サッシ化工事、外壁工事、ボイラーの更新や、温水器の設置等を行いました。
決算額		40,123千円						
(財源内訳)	国庫	12,996千円						
	道費	8,296千円						
	町債	17,600千円						
	その他	千円						
	一般	1,231千円						
(参考)		計	款	項	目	金額		
会計別決算額		①	3	2	3	40,123千円		

(4) 高齢者福祉

計画策定時の主な課題

- ◆介護予防事業の参加者を一層拡大するため、介護予防の重要性を広く周知し、若い世代も含めた意識啓発が必要となっています。
- ◆行政、事業所及び関係機関の連携による高齢者支援のサービス展開が必要となっています。

施策① 介護予防の推進

- 高齢者の生活機能維持・向上と改善

No.	計画事業	事業概要	担当課
101	高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。	一次予防事業（生活機能維持・向上）、二次予防事業（生活機能の改善）、介護予防・日常生活総合事業の実施	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		1 2, 5 7 1千円				主な事業実績	1 次予防事業は、医療用トレーニングマシンを使用した教室 93 回、小集団運動教室 4 会場 49 回、生きがいづくり事業フロア 46 回、プール 47 回開催しました。 脳の健康教室については、栗山・継立の 2 会場 50 回実施したほか、新たにモデルとして老連・老人会の 4 ヶ所で 9 回開催しました。 老人クラブからの依頼による健康・福祉・介護予防講話は 25 地区 55 回開催しました。 2 次予防事業は、体力づくり教室 97 回開催しました。	
決算額		1 2, 0 1 0千円						
(財源内訳)	国庫	2, 649 千円						
	道費	1, 325 千円						
	町債	0 千円						
	その他	1, 382 千円						
	一般	6, 654 千円						
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目			金額
		⑦	4	1	1			4, 629 千円
		⑦	4	1	2			7, 295 千円
		⑦	4	2	6	86 千円		

施策② 地域に密着した高齢者福祉事業の充実

- 医療・介護の関係機関等と連携した地域包括ケアシステムの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
102	充実 生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。	医療と介護の連携を含めた地域包括ケアシステムの構築、高齢者の地域・在宅生活支援の充実 など	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		17,204千円				主な事業実績	介護保険適用外の在宅福祉生活支援事業（除雪費用助成等）や、生活支援事業の配食サービス、家族介護用品支給などを行いました。 また、地域包括ケアシステムの構築については、安心して在宅生活が送れるよう医療・介護従事者ケアカンファレンスを年3回、退院前カンファレンス6件、医療機関と介護事業所・地域包括支援センター間で、患者情報の共有（連絡シート活用）及び交換を148件実施しました。
決算額		15,004千円					
（財源内訳）	国庫	1,595千円					
	道費	798千円					
	町債	5,300千円					
	その他	2,656千円					
	一般	4,655千円					
（参考） 会計別決算額	会計	款	項	目	金額		
	①	3	1	2	8,257千円		
	⑦	4	2	6	6,747千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
103	新規 南部地域における高齢者対策拠点の整備を検討します。	介護支援事業所・地域住民などとの意見交換、検討委員会の設置 【後期展望】 高齢者対策拠点施設整備の検討	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	関係団体、地元介護事業所との意見交換等を実施してきましたが、住民ニーズが少ないことから、再検討する方向ですすめています。	
決算		千円				
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		千円			
			千円			
			千円			
			千円			
			千円			
(参考)		会計	款	項	目	金額
会計別決算額						千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
104	新規 介護福祉学校と町内介護支援事業所との連携を図ります。	介護福祉学校生の町内介護支援事業所等へのボランティア、アルバイト協力、学校休業日等での福祉人材育成講習会の実施 など	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	介護福祉学生が町内イベント・介護保険施設などへボランティアやアルバイトを行えるよう学校と介護支援事業所との協力体制を構築しました。 また、新たな取り組みとして、町内介護支援事業所を外部講師として招き、特別講義を 2 回開催しました。 【主な実績】 ○ボランティア：22 回（延べ 158 人） ○アルバイト：2 施設（9 人・延べ 918 人）	
決算		千円				
（財源内訳）	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。					
			千円			
			千円			
			千円			
		千円				
	一般	千円				
（参考）		会計	款	項	目	金額
会計別決算額						千円

(5) 地域福祉

計画策定時の主な課題

- ◆家族・地域・関係機関等が連携して、災害時支援も想定した地域の支え合いの体制づくりが必要となっています。
- ◆元気な高齢者の生きがいづくり・活動の場の充実が必要となっています。
- ◆老々介護と言われる時代になり、家族介護を支える介護者支援が必要となっています。

施策① 社会参加と地域支え合い活動の推進

- 高齢者の知識・技能等を活かした社会参加の環境づくり
- 地域社会における高齢者等の見守り・支え合いの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
105	充実 高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。	ケアラズカフェの全町展開など高齢者等居場所づくりの推進、熟年人材センターなど高齢者の社会参加の推進 (栗山町社会福祉協議会との連携事業)	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		2, 1 5 5千円				主な事業実績	共生型地域交流スペース運営事業として南部地区に「遊歩道の駅つぎたて」を開設し、地域の高齢者ボランティアスタッフを配置しました。同拠点にて介護予防・健康増進事業を実施したほか、定期的に折り紙教室、カラオケ、健康マージャン、ミニ映画上映などを開催し、年間延べ4,117人が利用しました。 【主な介護予防・健康推進事業】 ○脳の健康教室：25回 ○すこやか運動教室：8回 ○笑いヨガ教室：3回	
決算額		2, 1 5 5千円						
(財源内訳)	国庫	2,100千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	0千円						
	一般	55千円						
(参考)		計	款	項	目			金額
会計別決算額		①	2	1	23			2,100千円
		①	3	1	1			55千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
106	充実 地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。	要援護者支援対策協議会による地域見守り・支え合い体制づくりの推進、ケアラー支援・命のバトン・在宅サポーターなど要援護者支援の実施 (栗山町社会福祉協議会との連携事業)	保健福祉課 高齢者・介護G

実績

最終予算額		18,982千円				主な事業実績	社会福祉協議会事業への補助・委託を行いました。	
決算額		17,964千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	14,500千円						
	その他	0千円						
	一般	3,464千円						
(参考)		会計	款	項	目			金額
会計別決算額		①	3	1	1			14,982千円
		①	3	1	2			2,982千円

【主な事業内容】

- 在宅サポーターによる「命のバトン」
 - ・配布 61 本 (871 本)、445 世帯への訪問
- ケアラーサポーター事業
 - ・参加サポーター：25 人 (2～3 人 1 組)
 - ・訪問世帯：157 世帯
- まちなかケアラーズカフェ事業
 - ・来場者数：8,694 人
 - ・ボランティア協力回数：407 回

(6) 障がい者福祉

計画策定時の主な課題

- ◆対象者のニーズを把握したサービスの展開と周知・PRの徹底が必要となっています。
- ◆障がい者の就労意向と受入可能な事業所を確保し、社会参加の拡大に向けた取り組みが必要となっています。

施策① 社会参加・自立支援

- 障がい者の生活エリアの拡大と経済的負担の軽減
- 社会参加の推進と自立支援団体の活動支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
107	障がい者の自立した地域生活を支援します。	ハイヤー利用助成、特定疾患通院費等助成、日中一時支援など、障がい者等の日常生活・活動をサポート	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		2, 5 7 1 千円			
決算額		2, 0 0 7 千円			
(財源内訳)	国庫	353 千円			
	道費	191 千円			
	町債	0 千円			
	その他	0 千円			
	一般	1, 463 千円			
(参考)		計	款	項	目
会計別決算額		①	3	1	4
		金額			
		2, 007 千円			

主な事業実績

障がい者の地域生活（在宅等）を支援するため、歩行困難者等への「福祉ハイヤー利用料金助成（対象 43 人）」、保護者等の介助が困難な場合の一時預かり「日中一時支援（対象 12 人）」、特定疾患患者等の通院の足の確保を支援する助成事業（対象 39 人）などを実施しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
108	障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。	地域自立支援協議会など障がい者団体の活動を支援、知的障がい者の雇用促進に向けた職親委託事業の実施	保健福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額		560千円				主な事業実績
(財源内訳)	決算額	306千円				
	国庫	80千円				
	道費	43千円				
	町債	0千円				
	その他	0千円				
	一般	183千円				
(参考)		会計	款	項	目	
会計別決算額		①	3	1	4	306千円

情報提供の同意を得た身障手帳所持者に対して、町身障協会の入会案内を実施し、10人が新規会員となりました。

障がい者の社会参加と交流の機会づくりとして、ふれあいレクリエーションを実施し、63人が参加しました。

障がい者家族会・よつば会への委託事業として、町内障がい者施設の見学会や、研修会等を開催し、各障がいの当事者・家族の情報交換や、町民に対する意識啓発の機会づくりを行いました。

主な事業実績

情報提供の同意を得た身障手帳所持者に対して、町身障協会の入会案内を実施し、10人が新規会員となりました。

障がい者の社会参加と交流の機会づくりとして、ふれあいレクリエーションを実施し、63人が参加しました。

障がい者家族会・よつば会への委託事業として、町内障がい者施設の見学会や、研修会等を開催し、各障がいの当事者・家族の情報交換や、町民に対する意識啓発の機会づくりを行いました。

Ⅳ 産 業

賑わいと活力あるふるさとづくり

(1) 農林業

計画策定時の主な課題

- ◆ 地域農業の担い手育成および新規参入者の受入体制の充実が必要となっています。
- ◆ 資源循環型農業の推進、付加価値ある商品開発、グリーン・ツーリズム活動の推進などが必要となっています。
- ◆ 担い手への農地集積の促進が必要となっています。
- ◆ 生産性の高い農地整備のため、引き続き道営事業などによる農業生産基盤整備が必要となっています。
- ◆ 森林の持つ公益的機能を維持・増進するため、計画的な森林整備が必要となっています。

施策① 担い手の育成

- 地域の中心的な役割を果たす農業後継者の育成
- 意欲ある新規就農者の受け入れ支援
- 農業経営改善などに係る農業者の経済的負担の軽減
- 地域営農システムの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
109	農業後継者の育成を図ります。	栗山町農業教育振興会（農業研修）への助成、栗山町農業振興公社による後継者育成事業（青年農業賞、未来塾・女性塾等）など	産業振興課 農林業振興G

実 績

最終予算額		1, 5 5 9千円			主 な 事 業 実 績	栗山町農業教育振興会による農業青年を対象とした道外研修（2人）・海外研修（2人）への派遣や青年農業賞の表彰、くりやま農業未来塾（6人）・くりやま農業女性塾（9人）運営の事業主体である一般財団法人栗山町農業振興公社への支援（事業負担金の支出）、栗山町4 Hクラブ活動へ支援しました。
決算額		1, 5 5 9千円				
（財源内訳）	国庫	0千円				
	道費	0千円				
	町債	0千円				
	その他	1, 250千円				
	一般	309千円				
（参考）		計	款	項		
会計別決算額		①	6	1	5	1, 559千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
110	充実 新規就農者の受け入れを進めます。	経営開始直後の青年農業者に対する助成、栗山町農業振興公社による新規就農支援事業（相談・研修・助成事業等）、地域おこし協力隊事業 など	産業振興課 農林業振興 G

実績

最終予算額	44,256千円	主な事業実績	新規就農者受け入れの事業主体である、一般財団法人栗山町農業振興公社への支援（事業負担金の支出）や、青年就農給付金事業・地域おこし協力隊事業の活用により、9人の就農研修生を受け入れ、6人が新規就農しました。			
決算額	44,256千円					
(財源内訳)	国庫		3,500千円			
	道費		9,750千円			
	町債		0千円			
	その他		11,500千円			
	一般		19,506千円			
(参考) 会計別決算額	計 款 項 目		金額			
	① 2 1 23		3,500千円			
	① 6 1 5		40,756千円			

No.	計画事業	事業概要	担当課
111	営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。	農業振興資金貸付け・利子助成、認定農業者の支援、栗山町農業振興公社による地域営農支援 など	産業振興課 農林業振興 G

実績

最終予算額	7,792千円	主な事業実績	営農活動の安定化支援につなげるため、農業経営基盤強化資金等の融資を受けた農業者に対し、利子助成を行いました。 ○利子助成：33件			
決算額	7,712千円					
(財源内訳)	国庫		0千円			
	道費		812千円			
	町債		0千円			
	その他		5,700千円			
	一般		1,200千円			
(参考) 会計別決算額	計 款 項 目		金額			
	① 6 1 3		7,712千円			

施策② 生産性の高い農業・農地整備の推進

- 生産性向上や経営改善に向けた取り組みへの支援
- 農地の遊休化防止と担い手への円滑な流動化の推進
- 土地改良事業等による農業基盤の整備
- 農村地域の環境保全と多面的機能の発揮
- エゾシカ等による農産物の食害防止

No.	計画事業	事業概要	担当課
112	充実 栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。	安全安心・良質な農産物生産活動を支援、農村環境保全に効果の高い営農活動を支援、農業用機械・施設整備の支援 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		45, 145千円				主な事業実績	農業における地球温暖化防止及び生物多様性の保全を図るため、化学肥料及び化学合成農薬の5割低減と併せて地球温暖化防止効果の高い営農活動に対し環境保全型農業直接支援事業により支援しました。 また、経営体育成支援事業を活用し、担い手に対する農業機械、施設導入に対する支援を行いました。 【主な実績】 ○環境保全型農業直接支援事業：8経営体・24.51ha ○経営体育成支援事業：20経営体
決算額		45, 049千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	44,552千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	497千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	6	1	3	45,049千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
113	農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。	栗山町農業振興公社による農地流動化の推進、農地利用集積の円滑化、規模拡大支援、農地の中間保有 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		6 3 5千円				主な事業実績	農地の遊休化防止と担い手農業者への農地集積を促進するとともに、生産性及び経営効率の向上を図るため、一般財団法人栗山町農業振興公社による農地利用意向調査事業等の農地流動化事業を支援しました。
決算額		6 3 5千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	635 千円					
(参考)	計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	6	1	3	635 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
114	国営事業などによる計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	国営道央かんがい排水事業償還負担、国営造成施設（農業用施設）の適切な維持管理 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		305,302千円				主な事業実績	○国営造成施設管理体制整備促進事業 栗山地区、由仁地区、北海地区において、適正な土地改良施設の維持管理を実施しました。
決算額		260,034千円					○農業基盤整備促進事業 栗山1地区において、排水路199m、暗渠排水3.1ha、区画整理5.1ha。栗山2地区において、暗渠排水32.62ha、区画拡大1.88haを整備しました。
(財源内訳)	国庫	118,930千円					○農地耕作条件改善事業 栗山地区において、暗渠排水78.30ha、区画拡大1.48haを整備しました。
	道費	93,703千円					
	町債	6,000千円					
	その他	32,596千円					
	一般	8,805千円					
(参考)		会計	款	項	目		金額
会計別決算額		①	6	1	4	260,034千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
115	充実 道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	道営農業農村整備事業（杵臼、南角田、継立地区など） など	産業振興課 農林業振興 G

実績

最終予算額		37,833千円				主な事業実績	杵臼南部地区他6地区において、道営土地改良事業により農業用排水施設、区画整理及び暗渠排水を整備しました。	
決算額		24,860千円					また、継立ため池1地区及び同2地区で、防災減災の為の調査を実施しました。	
(財源内訳)	国庫	0千円					【主な整備内容】 ○区画整理：50.2ha ○用水路：4,862m ○排水路：296m ○農道：271m	
	道費	13,301千円						
	町債	11,200千円						
	その他	0千円						
	一般	359千円						
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目		金額	
		①	6	1	4	24,860千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
116	自然環境保全・景観形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。	地域住民が取り組む農地の維持・保全、植栽による景観形成、水路・農道・ため池などの補修・長寿命化などの活動を支援	産業振興課 農林業振興 G

実績

最終予算額		1 9 9, 7 7 6千円				主な事業実績	町内の協定農用地延べ 5, 159ha において、地域での多様な主体の参画を得て実施する農地・農業用水等の保全に関する共同活動や、施設の長寿命化などの活動に対し多面的機能支払事業により支援しました。
決算額		1 9 9, 7 7 6千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	148, 996 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	50, 780 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	6	1	3	199, 776 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
117	中山間地域等における農業生産・多面的な機能確保を支援します。	中山間地域等直接支払事業（対象農地への交付金） など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		1 5 3, 6 0 4千円				主な事業実績	中山間地域等直接支払事業の第 4 期対策が始まり、342 人の農業者が活動に参加し、協定農用地は 1, 727. 86ha となりました。 各集落が取り組む水路や農道の維持補修などによる農地の多面的機能の確保や、共同利用機械の購入、鳥獣害対策、農業後継者育成対策等の活動が実施されました。
決算額		1 5 3, 6 0 4千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	115, 284 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	38, 320 千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	6	1	3	153, 604 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
118	有害鳥獣駆除対策を推進します。	有害鳥獣（エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラスなど）の駆除、エゾシカ侵入防護柵の維持管理、エゾシカ食肉加工の推進	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		10,139千円				主な事業実績	農業等への被害防止のため有害鳥獣（エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラスなど）の駆除を実施しました。	
決算額		9,768千円					また、駆除したエゾシカの有効活用を図るべく「熟成鹿肉ソーセージ」の試験販売を行いました。	
（財源内訳）	国庫	0千円					【有害鳥獣駆除実績】 ○エゾシカ：444頭 ○アライグマ：480頭 ○キツネ：140頭 ○カラス：398羽 ○キジバト：522羽	
	道費	214千円						
	町債	0千円						
	その他	1,500千円						
	一般	8,054千円						
（参考） 会計別決算額	会計	款	項	目	金額			
	①	6	1	2	7,181千円			
	①	6	1	6	2,587千円			

施策③ 農業・農村ブランドの推進

- 農産物加工や新商品開発、販路拡大に向けた取り組みへの支援
- グリーン・ツーリズムの推進
- 地力増進・景観向上に効果のある緑肥栽培への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
119	新規 6次産業化の取り組みを支援します。	農業者等が行う農産物加工、直売、農村レストランなどの新たな取り組みを支援する制度の創設	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		3, 4 2 3千円				主な事業実績	新商品開発、直売所イートインの事業（農産物の加工、販売）による 2 件の 6 次産業化の取り組みに対して支援しました。 このことにより新たに 3 人の雇用が生まれたほか、今後も平成 28 年度に 3 件、平成 29 年度に 2 件の実施が見込まれるなど、農業の成長産業化に大きく影響しています。
決算額		3, 4 2 2千円					
（財源内訳）	国庫	3, 422 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	0 千円					
（参考）		会計	款	項	目	金額	
会計別決算額		①	2	1	23	3, 422 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
120	農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。	農業・農村体験受入、直売事業などを行う栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会の活動支援、景観緑肥の作付を支援 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		5, 7 6 9千円				主な事業実績	畑地の地力増進と農村の景観の向上を図るため、景観緑肥の作付に対して支援し、37. 89ha が作付されました。	
決算額		5, 7 6 8千円					また、栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会が実施する、農村・農業体験受入事業への取り組みを支援し、367 人を受け入れました。	
(財源内訳)	国庫	0 千円						
	道費	0 千円						
	町債	3, 500 千円						
	その他	1, 000 千円						
	一般	1, 268 千円						
(参考)		計	款	項	目		金額	
会計別決算額		①	6	1	3	5, 768 千円		

施策④ 森林の保全・整備

- 森林が持つ多面的機能を発揮するための計画的な整備・管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
121	造林事業などにより適正な森林管理を推進します。	町有林の保育管理（造林・下刈・間伐など）、民有林の整備支援、林道の整備・充実 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額		4 7 , 4 5 3千円				主な事業実績	町有林の保育管理（人工造林 1.83ha、樹下植栽 4.44ha、下刈 28.29ha など）の実施及び民有林の保育管理（人工造林 19.86ha、下刈 100.67ha）等への支援を行いました。 また、保育管理作業を効率化するため、林道専用道（780m）の整備をしました。
決算額		4 7 , 2 2 9千円					
（財源内訳）	国庫	0 千円					
	道費	35,946 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	11,283 千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	2	1	5	8,451 千円	
		①	6	2	1	38,778 千円	

(2) 商工業

計画策定時の主な課題

- ◆進出希望企業の情報把握や積極的な情報発信など、関係機関とも連携した誘致活動が必要となっています。
- ◆高齢化や担い手不足など、商店街の空き店舗対策が必要となっています。
- ◆町内の消費者ニーズに対応した商店街の環境づくりが必要となっています。

施策① 商工業の振興

- 商店街が主体的に取り組む集客向上等の取り組み支援
- 商店街空き店舗活用の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
122	賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。	まちの駅栗夢プラザの運営支援、活性化イベント支援、空き店舗活用支援（開業支援）、くりやまギフトカードの利用促進 など	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		58,712千円			
決算額		58,634千円			
(財源内訳)	国庫	26,876千円			
	道費	20,580千円			
	町債	6,100千円			
	その他	500千円			
	一般	4,578千円			
(参考)		計	款	項	目
会計別決算額		①	2	1	24
		①	7	1	1
		金額			
		32,193千円			
		26,441千円			

主な事業実績

市街地商店街の区域内に点在する空き店舗の有効活用を図ることにより、子育て世代にやさしい、賑わいのある商店街づくりを推進するため、栗夢プラザ運営への支援や、空き店舗活用支援事業を実施しました。

また、くりやまギフトカード加盟店会が実施するプレミアム付き商品券の発行を支援しました。

【主な実績】

- プレミアム付き商品券：10,000セット
- 空き店舗活用支援事業：3件

施策② 企業誘致・新産業創出の推進

- 工業団地等への企業誘致による雇用創出と地域経済活性化
- 町内商工業者の経営安定・改善に向けた支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
123	積極的な企業誘致活動を行います。	栗山町企業等誘致推進協議会による誘致活動の支援、新規進出企業に対する用地購入費・雇用・水道料などの優遇措置	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		4, 8 0 3千円				主な事業実績	栗山町企業等誘致推進委員会に対して誘致活動の支援を行ったほか、新規進出企業に対する用地購入費・雇用・水道料などの優遇措置を実施しました。
決算額		4, 8 0 3千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	4, 803 千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	7	1	1	4, 803 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
124	町内商工業者の経営安定・改善などを支援します。	店舗等の新設・増設などの支援、一定基準を満たす商工業者への融資制度（中小企業振興資金）の運用、経営指導員による相談	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		119,901千円				主な事業実績	新築、増改築店舗に係る固定資産税の助成を行う栗山町商工業振興奨励金や、設備や経営近代化等に対して貸付する栗山町中小企業振興資金及び利子補給を実施したほか、経営指導員が金融相談・税務相談・労務相談など、企業経営について相談に応じられるよう栗山商工会議所に対し相談所開設費用を補助しました。 【主な助成実績】 ○栗山町商工業振興奨励金：19件 ○栗山町中小企業振興資金利子補給：191件 ○栗山町中小企業振興資金保証料補給：38件
決算額		119,600千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	10,200千円					
	その他	100,000千円					
	一般	9,400千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	7	1	1	119,600千円	

(3) 観光・交流産業

計画策定時の主な課題

- ◆短期イベントだけではなく、通年で観光客を受け入れる観光資源などの検討が必要となっています。
*老舗まつりや夏まつりは一定の集客があるが、他の観光施設では減少傾向にある。
- ◆広域連携による観光メニューの検討、増加傾向にある海外観光客の受入態勢の検討が必要となっています。

施策① 観光・特産品PRの推進

- 関係機関との連携による新たな観光推進体制の構築と振興計画の策定
- 「栗」を活用した地域ブランドの開発
- 東アジアを中心とした海外への特産品の海外販路開拓及び観光客受入の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
125	新規 新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。	商工会議所・JA等で構成する「(仮称)観光推進連携会議」による新組織設置の検討(新組織の役割:観光振興計画策定、観光事業の推進等)、各言語の観光ガイドの作成 など	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		4, 5 6 6千円				主な事業実績	くりやま夏まつり実行委員会、栗山観光協会等へ助成を行ったほか、栗山商工会議所・ＪＡ等で構成する新組織「（仮称）観光推進連携会議」の検討や、各言語の観光ガイドブックを作成しました。
決算額		4, 5 6 6千円					
（財源内訳）	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	3, 6 0 0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	966 千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	7	1	2	4, 5 6 6 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
126	充実 「栗の活用」を推進し、新たな特産品や観光資源の創出を図ります。	北のくりやま栗づくり協議会の活動支援（栗の産地化、6次産業化、ブランディングなど）、見本園の整備や町内のクリ植樹推進	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額	3,500千円	主な事業実績	「北のくりやま栗づくり協議会」の活動に対して支援しました。 ○品質向上試験圃場管理業務等委託等(6～3月) ○加工商品試験販売 ・栗山町の渋皮煮：453個 ・くりやま栗のパウンドケーキ：42個 ・くりやま栗のかりんとう：115個 ○体験学習型イベント（栗こだま作り・木彫りのサケ作り・栗ごはん試食）：親子18組40人
決算額	2,554千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
(参考)	一般		
	会計別決算額	① 2 1 23	金額 2,554千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
127	東アジア市場への特産品の販路拡大を支援します。	PR・コンサルティング・商談会への参加、通関などの費用を助成、海外からの観光客受入に向けた交流事業の実施	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額	2,500千円	主な事業実績	栗山町特産品推進協議会が主体となり、PR・コンサルティング・商談会への参加、通関などの費用助成、海外からの観光客受入に向けた交流事業を実施しました。 【主な事業内容】 ○マーケティング調査（シンガポール） ○催事出展（台湾 百貨店） ○コンサルタント委託 ○インバウンド観光事業 ○サイクルツーリズム事業
決算額	2,500千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
(参考)	一般		
	会計別決算額	① 2 1 23	金額 2,500千円

施策② 都市農村交流の推進

- 豊かな自然・里山環境など、地域資源を活かした交流人口の拡大
- 宅地分譲地等を活かした町内への移住・定住の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
128	自然・農村環境を活かした体験教育プログラムを開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。	都市圏対象のツアーイベント実施、町外小中学校・大学等の教育活動の受入、PR・ブランディング等の研修事業の実施 など	教育委員会 社会教育G

実績

最終予算額	910千円	主な事業実績	自然体験プログラムや雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを利用した交流人口拡大のためパンフレットを作成しました。 また、都市部の小・中学生、高校生、大学生等の利用拡大のため、モニターツアー実施しました。 ○自然体験プログラム町外利用者：2,252人			
決算額	909千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	① 10 4 9	金額	909千円			

No.	計画事業	事業概要	担当課
129	栗山町への移住・定住を促進します。	短期移住体験・都市圏での情報発信など「くりやま移住促進協議会」の活動を支援、宅地分譲地のPR・販売 など	若者定住推進室 ほか

実績

最終予算額	12,969千円	主な事業実績	「くりやま移住促進協議会」が実施する事業へ助成し、移住体験事業や道外で開催される移住相談会への出展、ウェブサイト等による情報発信などを行いました。 また、平成28年度に予定している「くりやま若者シティプロモーション事業」の戦略プラン策定に向けて、本町の現状を把握するため、町内及び札幌市の若者へのアンケート調査等を実施しました。 【くりやま暮らし体験事業実績】 ○体験者数・日数：76人・752日間			
決算額	12,876千円					
(財源内訳)	国庫					
	道費					
	町債					
	その他					
	一般					
(参考) 会計別決算額	① 2 1 23	金額	12,876千円			

(4) 雇用環境

計画策定時の主な課題

- ◆ 町内外の求職者を受け入れる就業機会の確保が必要となっています。
- ◆ 勤労者の労働環境の向上が必要となっています。

施策① 勤労者福祉の推進

- 勤労者の福祉向上と季節労働者の通年雇用化の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
130	勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。	勤労者福祉センターの管理運営、南空知通年雇用促進協議会による季節労働者の通年雇用促進支援・資格取得支援 など	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		4,973千円			
決算額		4,956千円			
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	0千円			
	一般	4,956千円			
(参考)		計	款	項	目
会計別決算額		①	5	1	1
		①	5	1	2
		金額			
		83千円			
		4,873千円			

主な事業実績

勤労者の文化教養並びに福祉の増進を図るため、指定管理委託により勤労者福祉センターを運営しました。

○年間延べ利用人数：14,254人

施策② 雇用環境づくりの推進

- 労働者の職場環境及び労働環境の向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
131	労働者の労働環境の向上を図ります。	町内事業所と労働者に対してアンケートを実施（雇用状態・賃金・福利厚生など）	ブランド推進課 ブランド推進G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	隔年で行う調査のため平成 27 年度の実績はありませんでした。なお、平成 22 年度から調査内容の多様化、専門性を高めるため調査専門会社に事業を委託し、調査内容は企業側調査のみならず、労働者に関する調査項目も盛り込んで実施しています。	
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。							千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目			金額

V 都市基盤

快適でやすらぐふるさとづくり

(1) 道路・交通

計画策定時の主な課題

- ◆道路整備は多額の費用を要するため、必要性や優先順位を精査するなど、計画的な整備が必要となっています。
 - ◆老朽度が進んでいる除雪用重機の計画的な更新が必要となっています。
 - ◆町営バスの効率的な運行体系の構築、高齢化社会に対応した交通システムなどの検討が必要となっています。
- ＊町営バス利用者 平成 14 年度 39,400 人（ピーク年）→ 平成 24 年度 18,789 人
- ◆地域間を運行する民間バス路線の維持、都市間アクセスの向上に向けた検討が必要となっています。

施策① 計画的な道路網の整備

- 幹線町道の計画的な整備
- 道路橋梁の長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
132	幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。	道路改良・舗装（平成 27～28 年度）	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		66, 363千円				主な事業実績	道路交通環境の向上を図るため、道路改良・舗装（L=300m）を実施しました。
決算額		66, 360千円					
（財源内訳）	国庫	17,800千円					
	道費	0千円					
	町債	48,475千円					
	その他	0千円					
	一般	85千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目	金額	
		①	8	2	5	66,360千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
133	幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。	道路改良・舗装（平成 27～33 年度）	建設水道課 技術 G

実 績

最終予算額		63, 256千円					主な事業実績	道路交通環境の向上を図るため、道路改良・舗装（L=300m）を実施しました。
決算額		63, 159千円						
（財源内訳）	国庫	19,500千円						
	道費	0千円						
	町債	43,659千円						
	その他	0千円						
	一般	0千円						
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目	金額		
		①	8	2	5	63,159千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
134	老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。	定期点検の実施（104 橋）、補修工事（17 橋）	建設水道課 技術 G

実 績

最終予算額		26, 171千円					主な事業実績	道路交通環境の向上を図るため、橋梁補修工事（2橋）を実施しました。
決算額		26, 169千円						
（財源内訳）	国庫	15,470千円						
	道費	0千円						
	町債	10,669千円						
	その他	0千円						
	一般	30千円						
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目	金額		
		①	8	2	5	26,169千円		

施策② 道路環境の整備

- 道路環境の適切な維持・安全確保
- 冬期間の交通確保に係る除雪体制の整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
135	充実 町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。	町道補修工事、区画線表示工事、栗山由仁線（約 900m）の植栽	建設水道課 総務管理 G

実績

最終予算額		27,031千円				主な事業実績	道路環境の整備や安全確保を図るため、町道の舗装修繕や側溝などの改修を行いました。
決算額		26,960千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	3,000千円					
	一般	23,960千円					
(参考)		会計	款	項目	金額		
会計別決算額		①	8	2 2	26,960千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
136	町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。	路面性状調査・附属物点検など道路ストック総点検の実施、道路ストック修繕計画の策定と運用	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		1, 0 5 9千円				主な事業実績	道路交通・歩行者の安全を確保するため、幹線町道の舗装状態や道路付属物状態を正確に把握し、適切な維持管理や補修を行うため、町道修繕計画を策定しました。
決算額		1, 0 5 8千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	1, 058 千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	
会計別決算額		①	8	2	2	1, 058 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
137	除雪用重機を計画的に更新します。	除雪用重機の計画的な更新（ドーザ、ロータリーなど）	建設水道課 総務管理G

実績

最終予算額		15,606千円				主な事業実績	冬期間における道路環境の維持・確保を図るため、除雪ドーザ1台を更新しました。
決算額		15,606千円					
(財源内訳)	国庫	8,580千円					
	道費	0千円					
	町債	5,800千円					
	その他	0千円					
	一般	1,226千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	8	2	3	15,606千円	

施策③ 公共交通システムの充実

- 都市間交通アクセスの維持・向上
- 高齢社会に対応できる地域公共交通の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
138	充実 地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。	民間バス路線確保のため一定の収支率以下の路線に対して補助、都市間（札幌市）への交通アクセス向上に向けた調査研究 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額		2, 0 8 8千円				地域間交通の利便性向上及び若者定住の促進を図るため、近隣市町を結ぶ民間バス路線の内、国庫補助基準経常収支率を下回った路線に対して、関係市町との協議に基づき運行経費の一部補填を行いました。 ○中央バス三川線（3 市町）：881 千円 ○中央バス長岩線①（4 市町）：612 千円 ○中央バス長岩線②（2 市町）：595 千円
決算額		2, 0 8 8千円				
（財源内訳）	国庫	0 千円				
	道費	0 千円				
	町債	0 千円				
	その他	0 千円				
	一般	2, 088 千円				
（参考） 会計別決算額		計	款	項	目	
		①	2	1	12	2, 088 千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
139	充実 町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。	計画的な車両（スクールバス等）の更新・小型化、デマンド方式バス運行路線の拡大	建設水道課 総務管理 G

実績

最終予算額		6, 201千円				主な事業実績	平成 10 年に購入したスクールバスの老朽化に伴い、小型バス 1 台を更新しました。
決算額		6, 199千円					
(財源内訳)	国庫	2, 880 千円					
	道費	0 千円					
	町債	2, 900 千円					
	その他	0 千円					
	一般	419 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	1	4	6, 199 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
140	新規 買い物弱者等の高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。	コミュニティバスの導入（運行計画策定、車両購入・バス車庫新設・バス停留所設置・町民説明会開催など）	建設水道課 総務管理 G

実績

最終予算額		4, 8 3 7千円				主な事業実績	高齢者等の日常生活を維持、確保し、地域コミュニティ内の移動手段を確立するため、コミュニティバスの試験運行を実施し、その為のバス停を新規に 15 基購入しました。
決算額		4, 7 2 5千円					
(財源内訳)	国庫	4, 725 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	0 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	1	23	4, 725 千円	

(2) 住宅・住環境

計画策定時の主な課題

- ◆定住促進に向け、良質低廉な住宅地の供給、定住者への支援制度の検討が必要となっています。
- ◆耐用年数を経過している公営住宅が多く、早期の建替えが必要となっています。
- ◆生活基盤である住環境向上のため、バリアフリーや耐震化などの住宅助成制度の継続が必要となっています。

施策① 計画的な宅地・住宅の整備

- 公営住宅の計画的な整備・改修
- 低廉で快適な住宅地の供給

No.	計画事業	事業概要	担当課
141	充実 公営住宅の整備・改修を行います。	老朽化した公営住宅の建替（曙団地、中央団地、継立団地、中里団地を予定）、地域材（栗山産木材など）の積極的な活用 など	建設水道課 技術G

実績

最終予算額		380,378千円			
決算額		380,155千円			
(財源内訳)	国庫	108,214千円			
	道費	0千円			
	町債	185,700千円			
	その他	80,703千円			
	一般	5,538千円			
(参考)		会計	款	項目	金額
会計別決算額		①	8	53	380,155千円

主な事業実績

老朽化した曙団地2棟14戸の建替え及び、既存の住宅の解体、新築住宅の設計等を行いました。

また、中里団地1棟16戸の浴室防水改修を実施しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
142	住宅団地の造成を行います。	朝日住宅団地第4期造成（17区画） 【後期展望】新たな住宅団地造成の検討	建設水道課 技術G

実績

最終予算額	78,958千円	主な事業実績	町内の土地を有効利用し、低廉で快適な住宅地を提供するため、朝日住宅団地第4期（17区画）を造成しました。
決算額	78,708千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考)	会計別決算額	金額	
	⑨ 1 1 1	78,708千円	

施策② 住まいの環境づくり

- 子育て世代などの定住促進に向けた支援
- 老朽化した危険空き家対策の推進
- 安心して長く住み続けられる居住環境の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
143	新規 若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。	子育て世代の移住者に対する住宅支援（住宅取得助成、中古住宅リフォーム助成、民間賃貸住宅家賃助成、移住促進に向けた情報発信など） 【後期展望】 若者・子育て世代向け町営住宅等の整備検討	若者定住推進室

実績

最終予算額		2, 6 9 8千円				主な事業実績	若者・子育て世代の移住者へ住宅に係る費用の一部を助成する「栗山町若者移住促進事業」の実施や、平成 28 年度に制度開始予定の「栗山町空き家バンク」のウェブサイト開設に向けた準備を進めました。 【助成内容】 ○住宅取得費用助成：1 件 (1, 000 千円) ○中古住宅取得費用助成：2 件 (600 千円)
決算額		2, 4 6 5千円					
(財源内訳)	国庫	2, 465 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	0 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	1	23	2, 465 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
144	生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組めます。	老朽化した危険家屋（空き家）のうち、町に寄附されたものの撤去	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		2, 6 5 7千円				主な事業実績	空き家等対策に必要な全町の空き家の実態調査を実施し、結果をデータベース化しました。
決算額		2, 6 4 1千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	2, 641 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	8	5	1	2, 641 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
145	「人にやさしい住宅助成事業」を実施し、住宅の居住性や住環境の向上を図ります。	住宅のバリアフリー改修、老朽住宅解体、耐震改修に係る費用の一部を助成 【後期展望】リフォーム助成制度の検討	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		3, 3 0 0千円				主な事業実績	町民が安心して長く住み続けられる住まいづくりと居住環境の向上に資するとともに、住宅関連産業の振興による地域経済の活性化を図るため、バリアフリー改修工事 9 件、解体工事 7 件の助成を行いました。
決算額		2, 8 5 9千円					
(財源内訳)	国庫	1, 429 千円					
	道費	0 千円					
	町債	1, 400 千円					
	その他	0 千円					
	一般	30 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	8	5	1	2, 859 千円	

(3) 上・下水道

計画策定時の主な課題

- ◆良質な水道水の安定供給のため、浄水場の機器更新と老朽水道管の更新が必要となっています。
- ◆下水道管理センターの処理機能維持のため、老朽化した機器の更新が必要となっています。
- ◆公共下水道と合併処理浄化槽の処理費用負担の公平性について、検討が必要となっています。
* 合併処理浄化槽は個人が設置し、設置後の維持管理・清掃も個人が行っているが、公共下水道供用区域と比較し高負担となっている。

施策① 水道水供給の維持

- 老朽化している水道管及び水道施設等の計画的な更新

No.	計画事業	事業概要	担当課
146	老朽化した水道管を計画的に更新します。	布設後 30 年以上が経過した老朽度の高い塩ビ管を更新	建設水道課 上下水道 G

実績

最終予算額		9 1, 7 7 9千円					主な事業実績	安定的な水道水の供給を図るため、老朽化した水道管 2, 308mを更新しました。
決算額		9 1, 7 7 9千円						
(財源内訳)	国庫	0 千円						
	道費	0 千円						
	町債	80, 700 千円						
	その他	0 千円						
	一般	11, 079 千円						
(参考)		会計	款	項	目	金額		
会計別決算額		①	1	1	1	91, 779 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
147	水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。	桜山浄水場・各ポンプ場の機器・計装設備を計画的に更新	建設水道課 上下水道G

実績

最終予算額		56,412千円					主な事業実績	安全・安心・安定した水道水の供給を図るため、桜山浄水場フロキュレーター、ポンプ等を更新しました。
決算額		55,966千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	53,100千円						
	その他	0千円						
	一般	2,866千円						
(参考)		会計	款	項	目	金額		
会計別決算額		⑪	1	1	3	55,966千円		

施策② 公共下水道の維持

- 老朽化している機器の計画的な更新
- 集落排水施設の公共下水道への統合による効率的な処理体制の確立
- 汚水処理費用負担の統一化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
148	老朽化した下水道施設を計画的に更新します。	更新時期を迎えた機器を計画的に更新	建設水道課 上下水道G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	当初平成 27 年度に実施する予定でしたが、国庫補助金配分の関係により平成 28 年度より実施することとしました。
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。				千円		
					千円		
					千円		
					千円		
					千円		
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目		
						千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
149	継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。	継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合	建設水道課 上下水道G

実績

最終予算額		2 6 4, 1 6 4千円				主な事業実績	機器更新費および維持管理費の削減と効率的な汚水処理を行うため、継立地区農業集落排水を公共下水道へ統合し、処理場を廃止しました。
決算額		2 6 0, 7 8 8千円					
(財源内訳)	国庫	129, 900 千円					
	道費	0 千円					
	町債	123, 400 千円					
	その他	0 千円					
	一般	7, 488 千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		⑫	1	1	2	260, 788 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
150	充実 合併処理浄化槽の整備制度を改正します（町管理への移行）。	下水道使用料などの公平化を図るため、個人設置した浄化槽を町管理に移行（平成29年度より以降予定）	建設水道課 上下水道G

実績

最終予算額		5, 9 9 7千円				主な事業実績	衛生的で快適な生活環境を提供し、良好な水環境の保全を図るため、新たに6基の合併処理浄化槽設置への助成を行いました。また、市町村設置型合併浄化槽制度の実施に向けての検討を行いました。
決算額		5, 8 8 4千円					
(財源内訳)	国庫	1, 057 千円					
	道費	33 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	4, 794 千円					
(参考)		計	款	項	目		
会計別決算額		①	4	1	4	5, 884 千円	

(4) 河 川

計画策定時の主な課題

- ◆異常気象による局地的豪雨や融雪期の増水など、河川の負担が増大しています。
- ◆河川内の樹木・土砂の堆積状況など、計画的な整備が必要となっています。

＊町管理河川 37 河川 176.4 k m

施策① 治水・河川環境の整備

- 河川環境の適正な維持管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
151	河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。	河川の土砂撤去・倒木除去、ハサンベツ地区の自然河川環境整備、円山地区排水路改修、国や道管理河川の適正な維持管理要望	建設水道課 総務管理 G

実 績

最終予算額		19,046千円				主な事業実績	河川環境の維持管理を目的に、倒木処理や河川法面補修などを実施しました。
決算額		18,252千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	18,252千円					
(参考)	会計	款	項	目	金額	【施工場所】 ○円山排水路の改修 ○ハサンベツ川支流の整備	
会計別決算額	①	8	3	1	18,252千円		

(5) 街なみ・景観

計画策定時の主な課題

- ◆景観阻害要因の適正な改善に向けたルールづくりが必要となっています。
＊老朽化した空き家、管理が行き届いていない空き地、通信鉄塔など
- ◆歴史的建造物などを活かした魅力ある景観形成が必要となっています。
- ◆人口減少や少子高齢化社会に対応した都市基盤の整備・充実に向けた取り組みが必要となっています。
＊都市計画マスタープラン等に基づく栗山、角田、南部の各地域振興策の実施

施策① 市街地形成の推進

- 新町及び錦地区の魅力ある街なみづくり
- 南部及び角田地域の基盤整備と活性化
- 将来を見据えた栗山市街地の計画的な基盤整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
152	展望 新町地区の再開発整備要望に取り組みます。	【後期展望】 新町通街路整備事業（道事業）の継続要望、街なみ整備（小公園整備など）、若者定住用町営住宅整備の検討 など	建設水道課 技術G

実績

最終予算額		6, 3 5 0千円				主な事業実績	新たに町、期成会、商工関係者によるプロジェクトを立ち上げ、新町地区の魅力ある街並みづくり計画（新町通り周辺まちづくり計画）を立案しました。 街路事業整備の早期実現を目指し、北海道に対し陳情要望を展開しました。
決算額		6, 2 7 2千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	6,272千円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	8	4	2	6,272千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
153	展望 馬追橋の早期架換え要望と、歴史的建造物を活かした錦地区の街並みづくりを検討します。	【後期展望】 馬追橋の早期架換え（道事業）に向けた継続要望、小林酒造レンガ倉庫周辺の遊歩道整備の検討 など	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	馬追橋の早期架替えに向け、事業の実施主体である北海道に対し、陳情要望を展開しました。	
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。							千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目			金額
								千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
154	新規 南部公民館の利便性向上に向けた、敷地内の整備を行います。	敷地内の利用計画策定、新規出入口・道路整備・保育園などで活用可能な芝生整備、駐車場整備	建設水道課 技術 G 経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額		1, 1 0 0千円				主な事業実績	南部公民館の周辺環境整備を実施するため、調査設計を実施しました。
(財源内訳)	決算額	1, 0 2 6千円					
	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	1, 026 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	4	3	1, 026 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
155	展望 継立中学校跡地の活用を含めた南部地域振興策を検討します。	【後期展望】 継立中学校跡地活用の検討、宅地分譲地造成の検討、夕張市・由仁町との広域道路網の整備要望など	建設水道課 技術G ほか

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	継立中学校の跡地施設については、これまでの地域懇談会の意見や、他自治体の活用事例調査などを基に、民間活力により利活用を進めることとし、地域関係団体に説明会を開催しました。 また、夕張市・由仁町との広域道路網の整備に向け、事業実施主体となる北海道に対し陳情要望を展開しました。
決算額	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。	千円					
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目	金額	
						千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
156	新規 農村環境改善センターの利便性向上に向けた周辺整備を行います。	駐車場 78 台分増設	建設水道課 技術G

実績

最終予算額		25,714千円				主な事業実績	改善センターの利便性向上や、イベント時の路上駐車解消のため、改善センター隣接地に駐車場（82 台分）を造成しました。
決算額		25,714千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	19,200千円					
	その他	0千円					
	一般	6,514千円					
（参考）		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	10	4	6	25,714千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
157	新規 国道 234 号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。	新工業団地の造成、国道と工業団地を結ぶ町道整備 など 【後期展望】 国道 234 号線整備事業（拡幅・バイパス化）の継続要望（国事業）、国道整備に伴う町道新設整備の検討、宅地分譲地造成の検討 など	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		1 7, 2 5 4千円				主な事業実績	国道 234 号線の整備に伴い、第 4 工業団地造成に係る調査設計を実施しました。
決算額		1 7, 2 4 1千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	16, 600 千円					
	その他	0 千円					
	一般	641 千円					
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目		
		①	8	2	5	3, 564 千円	
		⑩	1	1	1	13, 677 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
158	新規 栗山駅南側の機能性を高める道路・駐車場整備を行います。	栗山駅南側の周辺土地利用計画の策定・用地取得、道路整備・駐車場整備の検討	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	平成 27 年度においては事業を実施していません (計画どおり平成 28 年度より実施予定)。		
(財源内訳)	決算	千円					
	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。		千円				
			千円				
			千円				
			千円				
(参考)	会計	款	項			目	金額
	会計別決算額					千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
159	展望 まちの将来像を見すえた栗山市街地の整備を検討します。	【後期展望】 南大通り延伸（長沼町間）に向けた継続要望（北海道事業）、富士・中里地区の字名改正と5丁目構想の検討 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	長沼町との広域道路網の整備（南大通り延伸）に向けた検討を行いました。		
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。		千円				
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
(参考) 会計別決算額	会計	款	項			目	金額
							千円

施策② 景観づくりの推進

- 町民と行政の協働による景観づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
160	景観資源の保全・活用を図ります。	栗山町景観条例・景観計画に基づく景観づくりの推進、景観写真コンテストの実施 など	建設水道課 技術 G

実績

最終予算額		286千円				主な事業実績	景観施策の一環として、栗山町の新たな景観資源の発掘を目的とした第2回くりやま景観フォトコンテストを実施しました。 37人106点の応募があり、応募作品はカルチャープラザでの展示や町ホームページへ掲載しました。
決算額		270千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	270千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	8	4	1	270千円	

施策③ 公園・緑地の整備

- 安全で安心して遊ぶことのできる魅力的な公園づくり
- 御大師山周辺の環境整備と利便性向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
161	老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。	老朽化した公園施設の修繕（80 カ所）・更新（78 カ所）	建設水道課 技術 G

実 績

最終予算額		7, 5 4 4千円				主な事業実績	栗山公園遊具施設の更新 1 基を行いました。
決算額		7, 3 4 4千円					
(財源内訳)	国庫	3, 075 千円					
	道費	0 千円					
	町債	4, 200 千円					
	その他	0 千円					
	一般	69 千円					
(参考)		会計	款	項	目	金額	【更新内容】 ○複合遊具
会計別決算額		①	8	4	3	7, 344 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
162	新規 御大師山周辺(栗山公園等)の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。	整備計画の策定、散策路修繕・順路看板設置、既存展望台の撤去および展望デッキ整備、御大師山周辺案内看板の設置 など	建設水道課 技術G

実績

最終予算額		千円				主な事業実績	平成 27 年度においては事業を実施していません (計画どおり平成 28 年度より実施予定)。	
決算 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。							千円
								千円
								千円
								千円
								千円
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目			金額
						千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
163	新規 御大師山周辺ガイドブックを作成し、散策路・周辺施設の利活用を促進します。	御大師山散策路などの環境調査・ルート設定などの実施、周辺ガイドブックの作成	建設水道課 技術G

実績

最終予算額		100千円					主な事業実績	御大師山周辺の環境整備と利便性向上を図るため、ガイドブック作成に向けた調査を実施しました。
決算額		100千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	0千円						
	一般	100千円						
(参考)		会計	款	項	目	金額		
会計別決算額		①	8	4	3	100千円		

VI 地域経営

みんなが主役のふるさとづくり

(1) コミュニティ活動

計画策定時の主な課題

- ◆まちづくり協議会活動の地域住民への浸透と、さらなる活動の活性化が必要となっています。
*まちづくり協議会～栗山市街地8組織及び継立地区の計9組織（農村地域は未設置）
- ◆まちづくりの担い手として、NPO法人の安定的な活動継続と運営基盤の確保が求められています。
- ◆多様な地域課題の解決のため、大学の専門的知識の活用を促す取り組みが必要となっています。
*協定大学～北海商科大学、北星学園大学、酪農学園大学、北海道大学農学部

施策① コミュニティ活動の支援

- 地域組織の活動支援など町民主体のまちづくりの推進
- 特定非営利活動法人（NPO法人）の設立及び活動支援
- 協定大学が持つ専門的情報の活用と学生交流の推進
- 町民自ら考え、地域のために実施する公益活動の支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
164	まちづくり協議会などの地域活動を支援します。	まちづくり協議会の活動に対して交付金を交付（運営費・防災事業・福祉等その他事業）、地域支援職員の配置 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額		2, 6 3 1千円					主な事業実績	「角田地区まちづくり協議会」が新たに発足し計10組織となりました。 まちづくり協議会に対する運営・活動支援として交付金を交付したほか、81 人の支援職員の配置を行いました。 また、交付金については、主体的な地域課題解決やコミュニティ活動を促進できるよう次年度に向けて見直しを行いました。
決算額		2, 1 1 1千円						
(財源内訳)	国庫	0千円						
	道費	0千円						
	町債	0千円						
	その他	2, 111千円						
	一般	0千円						
(参考)		計	款	項	目	金額		
会計別決算額		①	2	1	12	2, 111千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
165	NPO法人などの公益活動 に対する支援を充実します。	NPO法人設立・活動相談、個人町民税寄附 金税額控除制度の運用、研修会の開催、各種 助成制度の紹介 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	30千円	主な事業実績	NPO法人設立に関する相談・受付窓口の設置（権限 委譲事務）、年度末事業報告や定款変更等の受理、各 種助成・融資制度の周知のほか、北海道 NPO サポート センターより専門相談員を招聘し、希望する NPO 法人 へ対して個別アドバイスを行う研修事業などを実施 しました。 ○町内 NPO 法人数：7 法人 ○町条例指定 NPO 法人の認定：2 法人 ○NPO 法人運営相談会への参加：4 法人
決算額	30千円		
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
(参考) 会計別決算額	一般		
	金額		
① 2 1 12		金額	30千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
166	協定大学と連携し、コミュ ニティ活動への情報・学術 等の支援を行います。	協定大学による実習・演習などの受入と学術 成果の共有、大学教員などの専門的知見活用、 大学講座事業（出前型）の実施 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	連携大学の専門的知識を活用し、多様化する地域課 題の解決や特色あるまちづくりを推進することによ り、地域の活性化やまちづくりに関する人材育成な ど、コミュニティ活動の推進を図るため、大学窓口や 担当課との連携強化、事業のマッチングなどを行いま した（大学講座、出前講座事業の実施については、計 画事業 N0. 57 に含めて実施）。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	金額		
	千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
167	新規 町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。	個人町民税の1%相当額（約400万円）を財源に、NPO・ボランティア団体などが連携・協力する提案事業を支援する。	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	町民自ら考え、地域のために実施する様々な活動により、魅力あるまちづくりの推進と地域の活性化を図るため、町民団体相互の連携による新たな活性化事業を支援する「栗山町まちの魅力アップ応援事業交付金事業」の平成28年度実施に向けた準備を進めました。
決算	千円		
(財源内訳)	平成27年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考)	千円		
会計別決算額	千円		
	金額		
	千円		

(2) 行政経営

計画策定時の主な課題

- ◆より効率的・効果的な行財政運営に向けての仕組みづくりが必要となっています。
- ◆多様化する住民ニーズに的確に対応できる職員育成や意識改革が求められています。
- ◆行財政改革を継続的に推進する必要があります。
- ◆人口減少や地域経済が低迷する中、広域連携による事業の検討が必要となっています。

施策① 効果的な行財政運営の推進

- 総合計画に基づく効果的な施策・事業の展開
- 中長期的に堅実で安定した財政運営の推進
- 適正・公平・公正な徴収及び滞納対策と納税者の利便性・サービス向上
- 町有施設の計画的な整備及び維持管理
- 公共施設等の管理情報の一元化及び中長期的管理計画の策定

No.	計画事業	事業概要	担当課
168	総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。	計画事業評価（各担当自己評価・外部評価・理事者評価）の実施、施策評価（前期4年目・後期3年目）の実施	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額		325千円			
決算額 (財源内訳)		312千円			
		国庫	0千円		
		道費	0千円		
		町債	0千円		
		その他	0千円		
		一般	312千円		
(参考)		会計	款	項	目
会計別決算額		①	2	1	12
		金額			
		312千円			

主な事業実績

町長、副町長、事業担当課による自己評価を行う「内部評価」と、町民目線の客観的な評価と提言を行う「外部評価」の結果を踏まえて、次年度の予算編成や新規施策の企画立案に反映しながら継続的に事業を改善し、PDCAサイクルによる実効性のある事業の展開につなげました（評価結果は公表済み）。

①内部評価事業数：180事業
②外部評価事業数：①のうち3事業

No.	計画事業	事業概要	担当課
169	充実 限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営を推進します。	中長期財政計画に基づく財政運営、効果的な予算編成手法の検討・導入、財政健全化条例の制定 など	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	歳入の 3/4 を国や道からの依存財源で占めていますので、国の動向を注視しながら、事業実施に必要な、補助金の活用や地方債の発行など必要な財源確保に努めました。 財政運営に大きく影響する次の3指標は、いずれも前年度から、改善されています。 ①財政調整基金 27 年度末現在高：558,725 千円 （前年比 142,803 千円増） ②実質公債費比率：15.8%（前年比 1.6 ポイント減） ③将来負担比率：86.8%（前年比 23.7 ポイント減）
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	千円		
	千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
170	自律したまちづくりのため、行財政改革を推進します。	行財政改革推進計画の進捗管理、町財政の中長期試算の見直し、行財政改革取組状況の公表	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	栗山町第 6 次総合計画に掲げる施策目標の実現のための必要な財源の確保、捻出、また、将来にわたって安定的な行政経営の基礎となる財政基盤の確立、行政システムの見直しなどを図ることを目的として、策定した栗山町第 4 次行財政改革大綱（平成 27 年度～平成 34 年度）に基づき、推進しました。 平成 27 年度は、特別職及び一般職の職員人件費の独自削減の継続実施、全庁的な各種証明書などの手数料の見直し検討、公共施設使用料の見直し検討を行い、平成 28 年 4 月より実施しています。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	千円		
	千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
171	充実 各種統計データにより、町勢の現状を分析し、まちづくりに活用します。	国勢調査など各種統計調査結果の分析と活用、町民経済計算の実施、統計資料（情報）の公表 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額		99千円				主な事業実績	基幹統計調査及び一般統計調査のデータを基に、町勢の現状を分析し、分析結果を町の各種施策に活用するため、「2016年版ポケット統計」を作成・発行したほか、国勢調査や「栗山の統計」に関するデータの分析・公表について準備を進めました。 ○ポケット統計の発行数：2,000部
決算額		67千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	67千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	5	1	67千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
172	充実 町税収入等の収納率向上に努めます。	滞納管理システムによる滞納対策強化、コンビニエンスストアにおける町税等の納付推進、クレジット収納等の調査検討 など	税務課 収納 G

実績

最終予算額		1, 1 9 5千円					主な事業実績	滞納管理システムを導入し、差押等の事務を効率化しました。
決算額		1, 1 9 5千円						財産調査は、前年度に比べ 145 件増加し、滞納処分件数は 11 件増加しました。
(財源内訳)	国庫	0 千円						コンビニ利用件数は、前年度に比べ 720 件増加しました。
	道費	1, 011 千円						また、土日の利用は約 2 割、日中以外の納付は約 5 割となっており、納付の利便性が伺えます。
	町債	0 千円						収納率は、前年度に比べ 0. 07 ポイント上昇しました。
	その他	0 千円						クレジット収納については、まだ導入自治体の数も少なく、費用対効果などの問題もありますが、納付の利便性の向上の観点から、引き続き検討します。
	一般	184 千円						
(参考) 会計別決算額		計	款	項	目	金額		
		①	2	2	2	1, 011 千円		
		②	1	3	1	130 千円		
		⑦	1	2	1	37 千円		
		⑧	1	2	1	17 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
173	充実 町有財産の適切な維持・整備を進めます。	役場庁舎照明のＬＥＤ化（省エネ改修）、役場庁舎外壁改修 【後期展望】 公用車車庫、営繕作業室の建替えを検討	建設水道課 総務管理Ｇ

実績

最終予算額		2, 6 0 0千円				主な事業実績	役場庁舎内の老朽化した器具を低消費電力型のＬＥＤ照明器具に取替えました。
決算額		2, 5 9 7千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	2, 597 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	1	1	2, 597 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
174	新規 公共施設等総合管理計画を策定し、計画的に老朽化対策を進めます。	公共施設等の維持管理・安全確保・修繕・更新・統廃合などに関わる中長期的な実施方針（総合管理計画）の策定と運用	経営企画課 行政経営Ｇ

実績

最終予算額		3, 1 3 2千円				主な事業実績	公共施設等総合管理計画の策定に必要な、固定資産情報の分析や各種行政コストの計算、財政シミュレーションなど、計画の策定に必要な基礎資料の作成を行い、平成 28 年度より開始する策定作業の準備を進めました。
決算額		3, 1 3 2千円					
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	0 千円					
	一般	3,132 千円					
(参考)		会計	款	項	目		
会計別決算額		①	2	1	1	3,132 千円	

施策② 効果的な行政体制の構築

- 町民ニーズに的確に対応できる職員育成と意識改革
- 新たな行政ニーズや社会環境の変化に対応した組織体制の構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
175	時代に対応できる行政職員を育成します。	国・道などへの職員派遣、職員提案型の自己啓発研修、各関係機関による研修プログラムへの参加、職階ごとの研修会開催 など	総務課 総務G

実績

最終予算額		7, 2 6 9千円				主な事業実績	職員研修計画により研修を実施しました。
決算額		6, 9 0 1千円					【主な実施内容】 ○内閣府、道、市町村共済組合への派遣：3 人 ○自治大学校：2 人 ○職員自主提案による自己啓発研修：10 人 ○職員研修センター等による研修：22 人 ○全職員を対象とした研修会の開催：2 回
(財源内訳)	国庫	0 千円					
	道費	0 千円					
	町債	0 千円					
	その他	90 千円					
	一般	6, 811 千円					
(参考) 会計別決算額		会計	款	項	目		金額
		①	2	1	1	6, 901 千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
176	効率的で満足度の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築します。	職員数適正化計画および職員業務量調査の分析結果などに基づく組織体制構築と人員配置	総務課 総務G

実績

最終予算額		9 2 千 円				主 な 事 業 実 績	栗山町職員人材育成基本方針に基づき、人材育成のための総合的・戦略的な人事管理制度を構築するため、人事評価制度を試験運用しました。平成 28 年度からの本制度の本格運用により、個々の職員の能力開発と意識改革に繋げ、それをもとに組織力をもって、行政推進できる効果的、効率的な組織体制を図ります。 また、平成 24 年度から実施している業務量調査について、継続実施しました。 職員数については 28 年 4 月 1 日現在 144 人となっています。（前年 143 人、参考：平成 18 年 181 人）
決算額		9 2 千 円					
（財源内訳）	国庫	0 千 円					
	道費	0 千 円					
	町債	0 千 円					
	その他	0 千 円					
	一般	92 千 円					
（参考） 会計別決算額		会計	款	項	目		
		①	2	1	1	92 千 円	

施策③ 行政情報化の推進

- 行政事務の効率化と町民サービスの向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
177	情報システムの活用により、行政事務の効率化および行政サービスの向上を図ります。	行政情報システムの適正な維持・管理・更新、社会保障・番号制度の導入・推進、電子自治体の推進 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	66,928千円	主な事業実績	各種情報システムの導入により、関係事務の効率化を図り、サービスの向上に向けた管理・運用を継続して行いました。 また、併せて個人情報等の漏えいを防止するために必要な対策の管理、または、調査・検討を継続して行いました。			
決算額	52,722千円					
(財源内訳)	国庫		19,404千円			
	道費		0千円			
	町債		0千円			
	その他		0千円			
	一般		33,318千円			
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	2	1	19	52,722千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
178	情報通信基盤・機器の活用により、行政事務の効率化および行政サービスの向上を図ります。	情報通信基盤・機器の適正な維持・管理・更新、民間事業者に対する町内ブロードバンドサービスエリアの拡大要望 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	14,065千円	主な事業実績	各種情報通信機器、情報機器を導入し、関係事務の効率化を図り、サービスの向上に向けたネットワーク等の管理・運用を継続して行いました。 また、併せて個人情報等の漏えいを防止するために必要な対策の管理、または、調査・検討を継続して行いました。			
決算額	13,396千円					
(財源内訳)	国庫		0千円			
	道費		0千円			
	町債		0千円			
	その他		0千円			
	一般		13,396千円			
(参考) 会計別決算額	計	款	項	目	金額	
	①	2	1	19	13,396千円	

施策④ 広域行政の推進

- 広域連携による効率的な行政運営の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
179	地域振興策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。	南空知ふるさと市町村圏組合への参画（4市5町）、南空知4町広域連携検討会議への参画（南幌町、由仁町、長沼町）	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額		11, 108千円					
(財源内訳)	決算額		10, 233千円				
	国庫		322千円				
	道費		5,000千円				
	町債		0千円				
	その他		4,500千円				
	一般		411千円				
(参考)		計	款	項	目	金額	
会計別決算額		①	2	1	12	9,911千円	
		①	2	1	23	322千円	

主な事業実績

南空知地域の一体的な魅力発信のほか、事務の共同処理を行うことにより、広域的な地域づくりや地域の自立発展、効率的な行政運営体制の構築を図るため、引き続き南空知ふるさと市町村圏組合に加盟し各種ソフト事業を展開しました。

南空知4町広域連携検討会議においては、北海道地域づくり総合交付金（市町村連携モデル事業）を活用し、民間放送事業者や航空会社活用によるプロモーションやパンフレット等作成による知名度向上推進事業、職員研修事業を行いました。

江別市内の4大学と、本町を含む8つの市・町の連携による「学生地域定着自治体連携プロジェクト」を新たにスタートし、延べ61人の大学生が地域活動に参加しました。

(3) 情報共有と町民参加

計画策定時の主な課題

- ◆政策情報を町民に分かりやすく伝える情報公開・提供の仕組みの充実が必要となっています。
- ◆若年層を含めた町民参加の充実に向けて、多様な仕組み・機会づくりが必要となっています。
- ◆運用実態を踏まえた自治基本条例の見直しの必要性があります。

施策① 行政情報の公開・提供

- 町広報やホームページ等を通じた行政情報等の積極的な発信
- 情報公開による行政運営の透明性確保
- 政策・財政情報の発信など町民との情報共有の推進
- コミュニティ活動の活性化に向けた情報共有インフラの整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
180	充実 広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。	広報くりやまの発行(毎月)、町勢要覧の発行、暮らしのガイドブックの発行、公式ホームページの運営 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額		9,440千円			
決算額		9,370千円			
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	233千円			
	一般	9,137千円			
(参考)		計	款	項	目
会計別決算額		①	2	1	2
		金額			
		9,370千円			

主な事業実績

広報くりやまの全戸配布および新社会人や自然環境保全・再生活動、成人式に関する特集記事を作成しました。

また、町ホームページについては、各課所などとの連携を図りながら、町内で行われた各種事業・イベントの情報をいち早く「新着情報」や「まちのニュース」に掲載するなど、より多くの情報発信を行い多くの町民に閲読してもらえるよう心掛けました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
181	町が保有する公文書の適切な公開と情報提供を推進します。	栗山町情報公開条例などに基づく適切な情報公開・提供、公開請求事案に応じた情報公開・個人情報保護審査会の開催 など	総務課 総務G

実績

最終予算額		1 2 8千円				主な事業実績	公文書及び個人情報の取り扱いについて、法令に基づき適切に対応を行いました。 ①町が保有する情報への請求に応じた公開 ・介護保険要介護認定等に係る情報提供：427 件 ・情報公開条例第 10 条の規定に基づく公文書公開請求：1 件 ②情報公開・個人情報保護審査会 ・不服申し立て件数なしにつき、未開催
決算額		0千円					
(財源内訳)	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	0千円					
(参考)	計	款	項	目	金額		
会計別決算額	①	2	1	19	0千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
182	充実 予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。	財政情報の町広報掲載、予算説明書および決算説明書の発行、財政モニター制度、出前型町財政学習会の実施 など	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額		1, 7 1 7千円				主な事業実績	町財政に関する理解の浸透と情報共有を推進するため、予算、決算などの財政情報を町民にわかりやすく発信するよう努めました。 【主な公表】 ○町広報誌：4回（4月、10月～12月） ○予算説明書の全戸配布（4月） ○決算説明書の公表（10月公共施設配置） ○財政事業説明書の公表：2回（7月、1月） ○町ホームページへの掲載
決算額		1, 5 5 2千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	1,552千円					
（参考） 会計別決算額		計	款	項	目		
		①	2	1	1	1,552千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
183	充実 自治基本条例に基づき、町民への情報提供に関する仕組みを充実します。	各種計画・条例策定プロセスの公表、審議会等の情報公開、出前型政策説明（懇談）制度の運用 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	24千円				
決算額	5千円				
(財源内訳)	国庫	0千円			
	道費	0千円			
	町債	0千円			
	その他	0千円			
	一般	5千円			
(参考)	会計別決算額	①	2	1	12
		金額			
		5千円			

自主事業実績

自治基本条例第16条の規定に基づく町民への情報提供に関する仕組みを充実することにより、政策情報の共有や町民参加の推進など、町政に対する町民の理解、関心度の向上を図るため、各種計画等の公表や各種審議会情報等の公開を行いました。

また、新たな仕組みとして出前型政策説明制度（栗山町出前型政策・施策説明会）の要綱制定・施行のほか、次年度の本格運用に向けた試行運用と検証を行いました。

○出前型政策説明制度利用件数：3件（55人）

No.	計画事業	事業概要	担当課
184	栗山町史（平成史）を編集・発刊します。	平成元年から平成30年の平成史版の発行	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	千円				
決算額	千円				
(財源内訳)	平成27年度の予算配当・執行はありません。				
(参考)	会計別決算額	①	2	1	12
		金額			
		千円			

自主事業実績

平成期における社会情勢や町政情報等を町史としてまとめ、後世へと伝承していくことにより、今後のまちづくりの指針として活用するほか、町民の歴史意識の高揚を図るため、平成32年度の町史発刊を目指し、次年度からの編さん体制整備に向けた準備や資料の収集を行いました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
185	新規 開拓 130 周年記念事業を行います。	開拓 130 年・町制施行 70 年記念式典の実施、記念誌の発行	総務課 総務 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	平成 27 年度においては事業を実施していません。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	金額 千円		

No.	計画事業	事業概要	担当課
186	新規 コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。	放送局開局支援（法人参入への支援）、放送局整備工事、防災ラジオ購入（配布）、番組広告料 など	総務課 広報・防災 ・情報 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	地域情報の共有と町民のコミュニティ活動の活性化や高齢者、障がい者などへの災害情報を伝達する手段としての活用を予定しており、平成 29 年度からの運用開始に向け、運営団体、運営方法等について検討しています。
決算	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	金額 千円		

施策② 町政への町民参加の推進

- 町政に対する町民ニーズ・意見等の把握と参加機会の充実

No.	計画事業	事業概要	担当課
187	町長のまちづくり懇談会を行います。	春・秋2回の定例懇談会、団体などとの小規模懇談の実施	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額		6 6千円				主な事業実績	年2回のまちづくり懇談会を開催。春（5月11日）は町内会長・自治会長を対象に行い 35 人の参加があり、冬（12月1～3日）は北部・中部・南部の各地に出向き町民対象の懇談会を実施し 72 人が参加しました。開催にあたっては、懇談を活発にするため町内会・自治会に事前に質問・意見を聞き取りしました。 また、冬の開催時には町広報での周知および各町内会・自治会にチラシを配布し参加者の増加を図りました。
決算額		1 7千円					
（財源内訳）	国庫	0千円					
	道費	0千円					
	町債	0千円					
	その他	0千円					
	一般	17千円					
（参考） 会計別決算額		計	款	項	目	金額	
		①	2	1	2	17千円	

No.	計画事業	事業概要	担当課
188	日常的な町民との情報共有制度「くりやまキャッチ・ボイス」を運用します。	ハガキ・FAX・メールにより日常的な町民の疑問・意見などを受理し、原則2週間以内に回答する仕組みの構築・運用	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額		千円		主な事業実績	はがきやFAX、ホームページにより 40 件の投書があり、要望 25 件、質問・相談 19 件、提案と激励・称賛がそれぞれ 1 件ありました（1 件に複数の投書あり）。投書の内容については、2 週間に以内に返答するとともに、町広報や町ホームページに掲載し情報発信しました。 また、2 ヶ月ごとにキャッチ・ボイスの専用はがきを町広報に折り込み、町民のニーズや意見などを把握するように心掛けました。
決 (財源内訳)	平成 27 年度の予算配 当・執行はありません。		千円		
			千円		
			千円		
			千円		
			千円		
(参考)	会計	款	項		
会計別決算額					千円

No.	計画事業	事業概要	担当課
189	充実 自治基本条例に基づき、多様な世代に対する町民参加機会を充実します。	町政の重要課題に対する町民参加機会の充実、審議会等の委員公募の推進、子どものまちづくり参加（体験）の推進 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	町広報及び町ホームページにて審議会等の委員公募情報や、会議傍聴情報を公開しました。 また、子どものまちづくり参加（体験）を推進するため、平成 29 年度の本格運用を目指して、次年度における制度設計及び試行運用に向けた先進地視察や、関係課所との協議を行い準備を進めました。
決	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	金額 千円		

施策③ 自治基本条例の見直し

- 条例の運用実態を踏まえた見直しの検討

No.	計画事業	事業概要	担当課
190	新規 町民参加により、栗山町自治基本条例の見直しを行います。	先進自治体研究、行政内見直し委員会の設置・検討、(仮)町民見直し委員会の設置・検討、啓発パンフレット配布 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	千円	主な事業実績	具体的な取り組みは平成 28 年度に予定されているため、平成 27 年度においては事業を実施していません。
決	千円		
(財源内訳)	平成 27 年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	金額 千円		

お問い合わせ先：栗山町経営企画課行政経営グループ

TEL：0123-73-7503（直通）

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

発行日：平成28年10月